

講義科目名称：心理学

授業コード：3P001

英文科目名称：Psychology

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	講義（13コマ）、演習（2コマ）。講義中、随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	<p>心理学の歴史と方法 本講義のテーマ、講義の展開予定、受講上の注意などについて説明をする。また、心理学の歴史と研究方法について学び、本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学、実験心理学の始まり（ヴェント）、ヴェント批判（ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析）</p>	榎本光邦
	第2回	<p>脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では、心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造、脳の働き、高次脳機能障害</p>	榎本光邦
	第3回	<p>心の発達 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では人間の発達の諸側面、子どもの認知発達について学ぶ。 key words：こどもの認知発達（ピアジェ）、こどもの社会性の発達、生涯発達心理学</p>	榎本光邦
	第4回	<p>神経発達症／神経発達障害（1） 平成19年度から全国で特別支援教育が開始され、ここ数年の間に発達障害に関する知識が急速に広まっている。本講義では発達障害の1つであるAD/HDの特徴について学び、支援の方法について理解を深める。 key words：発達障害、AD/HD、特別支援教育</p>	榎本光邦
	第5回	<p>神経発達症／神経発達障害（2） 前回に続き、発達障害の1つであるSLDと、発達障害とは区別される知的能力障害（知的発達症／知的発達障害）の特徴について学び、支援の方法について理解を深める。 key words：SLD、知的能力障害（知的発達症／知的発達障害）、特別支援教育</p>	榎本光邦
	第6回	<p>神経発達症／神経発達障害（3） 前回に続き、発達障害の1つである自閉スペクトラム症の歴史と特徴について学ぶ。また、太田ステージ理論に基づく自閉症支援について学ぶ。 key words：自閉スペクトラム症、太田ステージ理論、特別支援教育</p>	榎本光邦
	第7回	<p>感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには、外界を理解する必要がある。本講義では、我々が外界の情報を受容し、それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚、知覚的な体制化、奥行き知覚と知覚の恒常性、錯覚、運動の知覚</p>	榎本光邦
	第8回	<p>学習 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理と、社会的学習理論を概観する。 key words：古典的（レスポデント）条件づけ（パブロフ）、オペラント条件づけ（スキナー）、社会的学習理論（バンデューラ）</p>	榎本光邦
	第9回	<p>記憶と思考 感覚・知覚によって入力されてきた情報は、私たちが環境に適応するために使用される。そのためには、情報を効率的に貯蔵し、この使用の方法についての戦略が必要になる。心理学では前者の課程を「記憶」と呼び、後者の課程を「思考」とよぶ。本講義では、人間の記憶と思考の仕組みについて学習する。 key words：記憶のしくみ、記憶の二重貯蔵モデル、問題解決と意思決定、推論</p>	榎本光邦

	<p>第10回 動機づけと情動 人の行動は多様であるが、それぞれの行動には、その行動と結びついた特定の原因があると考えられる。例えば、Aさんが勉強を中断して夜食を食べたのは「空腹だったから」であろうし、また、恋人と別れてBさんが泣いたのは「悲しかったから」であろう。行動の原因と考えられるもののうち、前者のグループは「動機づけ」とよばれ、後者のグループは「情動」とよばれる。本講義では、人間の動機づけと情動について理解を深める。 key words：動機づけと欲求、マズローの欲求階層モデル、感情・情動、表出行動とコミュニケーション、動機づけと情動の病理</p>	榎本光邦
	<p>第11回 性格（1） 私たちはそれぞれ、他の人とは違うその人らしい考え方、感じ方、そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は、状況の変化にも関わらず、時や場所を越えて、比較的一貫し、安定している。このことから、私たちに、このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ、それは「性格」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である「類型論」と「特性論」や性格の5因子モデルについて学ぶ。 key words：類型論、特性論、性格の5因子モデル、性格検査の信頼性と妥当性</p>	榎本光邦
	<p>第12回 性格（2） 私たちの性格を客観的に測定する「性格検査」を体験し、自分の性格について把握する。 key words：エゴグラム、交流分析</p>	榎本光邦
	<p>第13回 対人関係と集団 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words：対人認知、対人感情、関係の維持</p>	榎本光邦
	<p>第14回 心理療法（1） 「コラージュ療法」演習 心理療法とは、「心の問題」に対する心理学の知見を用いた援助である。本講義では、心理療法の中でも「芸術療法」と呼ばれるものの1つである「コラージュ療法」を体験する。 key words：芸術療法、コラージュ療法</p>	榎本光邦
	<p>第15回 心理療法（2） 「箱庭療法」 箱庭療法はローエンフェルトによって考案され、その後、カルフがユングの考えを導入して発展させ、河合隼雄によって我が国へ導入され、さらに世界中に広がった技法である。本講義では、箱庭療法の分析方法を紹介し、それを応用し、自らが作成したコラージュについて検討を行う。 key words：コラージュ療法、箱庭療法、空間象徴</p>	榎本光邦
科目の目的	<p>心理学を学ぶことにより、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う。自己および他者への理解を深め、社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>ディプロマポリシー：【知識・理解】</p>	
到達目標	<p>1. 心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。</p>	
関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】教育学、教育心理学、生命倫理、哲学、人間と宗教、社会学、生活文化と医療、大学の学び入門、大学の学び—専門への誘い—、多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、人間発達学、医療概論、病理学、公衆衛生学、臨床神経学Ⅰ（神経内科学）、臨床神経学Ⅱ（小児神経学・脳神経外科学）、精神医学、小児科学、リハビリテーション医学、老年医学、緩和医療学、リハビリテーション概論、リハビリテーション関連領域論、臨床心理学、安全管理、医療統計学、社会福祉・地域サービス論、人間関係・コミュニケーション論 【専門科目群】障害者スポーツ・レクリエーション論、発達支援理学療法学、理学療法特殊講義</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（80％）に毎回の講義後に作成する小レポートの評価（20％）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。</p>	
教科書・参考書	<p>【教科書】 山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」 北大路書房</p>	
オフィス・アワー	<p>月・火・水・金の昼休み（1号館305研究室および1号館・4号館学生相談室）</p>	
国家試験出題基準	<p>なし</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。</p>	

講義科目名称：教育学

授業コード：3P002

英文科目名称：Education

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
安藤 哲也			

授業形態	講義（グループワーク等の演習を含みます） 15コマ	担当者
授業計画	第1回 なぜ「教育学」を学ぶのか？ 本講義の目的、展開予定、受講上の注意に関する説明と本講義の到達目標の展望。 自分にとって教育学を学ぶことの意味について考える。	安藤哲也
	第2回 教育とは？ 先人(大村はま、斎藤喜博、東井義雄)の教育観や教育実践を知り、自身が経験してきた教育を振り返ることを通して、教育の在り方について考える。	安藤哲也
	第3回 世界の教育思想 ※提出課題あり 代表的な先人の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第4回 現代の日本の学校教育 学習指導要領の変遷を基に、改訂当時の社会状況などを知ることを通して、それぞれの時期に目指した学校教育の有り様の背景について考える。	安藤哲也
	第5回 現在の学校教育が目指すもの 新学習指導要領の記述を基に、自身が経験した教育内容を振り返ることを通して、現在の学校教育が目指す教育の有り様について考える。	安藤哲也
	第6回 潜在的なカリキュラムとは？ 複数の事例を基に潜在的なカリキュラムが及ぼす影響について考えることを通して、教育行為の基盤となるものにまで視野を広げる。	安藤哲也
	第7回 子どもの思いに基づく幼児教育 「環境を通して行う教育」「遊びを通しての総合的な指導」といった幼児教育の基本について知ることを通して、自身の専門領域における指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第8回 子どもの思いを理解する ビデオ映像を基に、一連の保育場面における子どもの思いを読み取ることを通して、子ども理解の方法とその重要性について具体的に考える。	安藤哲也
	第9回 子どもの思いを指導に活かす ビデオ映像を基に、子どもの思いを環境構成や保育者の関わり方に重ね合わせることを通して、子どもへの指導の在り方を具体的に考える。	安藤哲也
	第10回 活動を通して学ぶということ 自身の学校経験を振り返るとともに、特別活動を具体的に体験することにより、活動を通して学ぶことの意義を見出す。	安藤哲也
	第11回 特別活動で何を育てるのか？ 特別活動を具体的に体験し、活動を通しての学びを実感することにより、教師の視点から特別活動の意義や指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第12回 チームの重要性 具体的事例を基にカンファレンスを体験することを通して、教職員同士の協働性や同僚性、学び合いの大切さについて考える。	安藤哲也
	第13回 保護者とのかかわり 社会問題となっている虐待事件の事例を基に、背景にある保護者の思いや状況について知ることを通して、保護者への対応の在り方を考える。	安藤哲也
	第14回 教師の資質 これまでの学びや自身の教育経験を踏まえ、子どもにとって理想的な教師像を思い描くことを通して、教師に求められる資質とはどのようなものかを考える。	安藤哲也
	第15回 「教育学」をどう活かすか？ ※課題レポートあり 「教育学」で得た学びの活かし方に関する考えを交流することを通して、自身のキャリア形成について幅広い視野から考えを深める。	安藤哲也
科目の目的	学校教育を中心とした自身の教育経験を対象化し、教育内容や教育方法、教師の資質などについて、幅広い視点から振り返り、具体的に考察することを通して、対人援助職に共通して必要となる	

	知識を見出すことを目的とします。【知識・理解】
到達目標	本授業で得た教育に関する学びを自身の専門領域に引き寄せ、何を、どのように活かせるかについて考えを深め、自分の言葉で述べるができる。
関連科目	教育心理学
成績評価方法・基準	①毎回の授業で使用するワークシートの内容（課題解決過程や振り返りの内容）と②課題レポートの内容を総合して評価します。配点は、①が70%、②が30%です。 ①は、毎回のめあてに近づく思考がなされているか、鍵概念を理解できているかという観点で評価します。そして、評価に基づいたコメントを付し、次回に返却することを通して、個々の学びを深めていきます。 ②は、本授業のまとめとして作成し、本授業での学びを自分の将来像(生き方)に意味付けているかという観点で評価します。第15回に他者と交流することを通して、幅広い視点から自分の学びを見つめ直します。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料を基に予習をするとともに、返却されたワークシートを基に復習をしましょう。予習・復習に必要な時間の目安はそれぞれ90分程度です。
教科書・参考書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。
オフィス・アワー	授業の前後(場所:非常勤講師室)でお願いします。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義で使用する資料は、原則として前回授業の翌日にActive Academyにより事前配布します。各自印刷して授業に持参して下さい。

講義科目名称：教育心理学

授業コード：3P003

英文科目名称：Educational Psychology

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
原 芳典			

授業形態	講義（演習＝エクササイズを含む） 15回	担当者
授業計画	第1回 教育心理学を学ぶ意義 ガイダンス 学校教育とは 子供の誕生と消滅 エクササイズ（思い出に残る先生）	原 芳典
	第2回 発達の視点を持つ 様々な発達理論 思春期とは？ エクササイズ（自分史グラフ）	原 芳典
	第3回 思春期の仲間関係の発達 ギャンググループ チャムグループ ピアグループ エクササイズ	原 芳典
	第4回 児童期 フロイトの自我理論 心理学の歩み エクササイズ	原 芳典
	第5回 乳幼児期① 生理的早産仮説 有能な赤ちゃん 愛着形成 エクササイズ	原 芳典
	第6回 乳幼児期② ビデオ学習「赤ちゃん」	原 芳典
	第7回 青年期の心理と課題 エリクソンの発達理論 エクササイズ（アイデンティティ・ステータス）	原 芳典
	第8回 ジェンダー・アイデンティティ 自己概念 ジェンダー・アイデンティティ 男女の会話スタイル 自己概念	原 芳典
	第9回 学校教育相談① 学校教育相談の歩み チューン・インタビュー	原 芳典
	第10回 学校教育相談② アクティブ・リスニング アサーション エクササイズ（聞く態度で信頼関係はつくられる）	原 芳典
	第11回 特別教育支援 特別支援教育にいたる経緯 発達障害の概念の整理 エクササイズ（視覚優位か聴覚優位か）	原 芳典
	第12回 教育現場の実践的諸問題① ビデオ学習「発達障害」 いじめ問題	原 芳典
	第13回 学校教育現場の実践的諸問題② ビデオ学習「傷つき傷つけられた果てに」 摂食障害 自傷行為（リストカットなど） 自殺	原 芳典
	第14回 学校教育と自己肯定感 自己肯定感 エレファントシンドローム エクササイズ（OKマークをペタン）	原 芳典
	第15回 まとめ 自己実現 エクササイズ（様々な私）	原 芳典
科目の目的	自分や周囲が体験してきた教育を振り返り、その心理的意味を考察することで、人間を理解し、人との関係の取り方や自分自身の在り様を見つめる【知識・理解】	
到達目標	教育心理学の概要を自分および周囲の体験から理解し、自分自身を考察し、他者との効果的な関係づくりを習得する	
関連科目	教育学 心理学 臨床心理学 カウンセリング	
成績評価方法・基準	定期試験50% および 授業内レポート（毎回提出を求める学習の理解や定着度を測る小レポートなど）による評価50% 小レポートは次回講義に評価コメントをつけて返却し、必要があれば全体に補足コメントをする	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	講義終了時に、次回の予告をする。格別準備はいらないが自分の教育体験をよく想起しておく（45分程度）
教科書・参考書	教科書はとくに使用しない。必要に応じて講義資料を提示する。 参考図書： 保坂亨著「いま、思春期を問い直す」東京大学出版会 2010年 近藤邦夫他編著「子どもの成長、教師の成長～学校臨床の展開」 2000年 神田橋條治著「発達障害をめぐって」岩崎学術出版社 2018年
オフィス・アワー	昼休みおよび授業前後（場所：非常勤講師室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	とくになし

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義・演習	担当者
授業計画	第1回 はじめに ―健康の保持・増進という視点から運動・スポーツを科学する― ①ライフスタイルと生活習慣病について ②適正体重の維持 ③日常生活の歩数の増加 日常生活のなかで積極的に体を動かそう ④運動不足病としての生活習慣病 ⑤「運動基準」「運動指針」	衣川隆
	第2回 運動とスポーツの生理学① ―呼吸・循環器系機能と運動・スポーツ― ①運動の持続と呼吸・循環器系 ②循環器の働きと血液の循環経路 ③運動に伴う呼吸・循環器系機能の変化	衣川隆
	第3回 運動とスポーツの生理学② ―ATPと運動・スポーツ― ①運動時の酸素利用 ②トレーニングによる呼吸・循環器系の適応	衣川隆
	第4回 運動とスポーツの生理学③ ―神経・骨格筋系機能と運動・スポーツ― ①随意最大筋力を決めるもの ②身体運動にみられる筋と腱の相互作用 ③身体運動と神経機能	衣川隆
	第5回 運動とスポーツの生理学④ ―エネルギー代謝と運動・スポーツ― ①1日のエネルギー消費量と貯蔵エネルギー量 ②一過性運動時のエネルギー代謝 ③トレーニングによるエネルギー代謝の変化	衣川隆
	第6回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論① ―トレーニング概論― ①体力トレーニングの原理と原則	衣川隆
	第7回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論② ―瞬発系、持久力系、回旋系― ①エネルギー発現能力を高めるためのトレーニング	衣川隆
	第8回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論③ ―評価（アセスメント）― ①評価（アセスメント） ②コレクティブエクササイズ	衣川隆
	第9回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論④ ―アスリートトレーニング― ①一例（ケンブリッジ飛鳥）（目標まで3か月、週3回、1時間） ②ドローイン	衣川隆
	第10回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論⑤ ―筋肉とタンパク質― ①食事のアスリート度チェック ②栄養（タンパク質）チェック	衣川隆
	第11回 健康保持・増進のための運動・スポーツ理論⑥ ―筋肉とアミノ酸― ①アミノ酸とは ②BCAAについて ③グルタミンについて ④アルギニンについて ⑤クレアチンについて	衣川隆
	第12回 スポーツ心理① 他人のために自分ができること、目標設定とは？理想の自分とは？成功と失敗を振り返る、について考える。	衣川隆
	第13回 スポーツ心理② 起こり得る問題の対策、オープンウインド、について考える。	衣川隆
	第14回 スポーツ心理③ 気持ちをコントロールする、について考える。小テスト実施。	衣川隆
	第15回 スポーツ心理④ 1か月の目標設定、について考える。小テスト返却。レポート提出。	衣川隆
科目の目的	【知識・理解】 「健康と運動」、「老化と運動」に関しその維持と増進方法について、なぜ運動が重要なのかを学ぶ。特に有酸素運動と筋トレの効果は、心肺機能、呼吸器の向上、筋力の向上と筋肥大だけでなく、肥満防止や生活習慣病の予防・改善、姿勢の改善、高齢者生活の障害を低減すること等を説明	

	<p>する。本講義では有酸素運動や、筋力トレーニングを体験しながらその効果をも医療従事者として、地域社会に発信できるよう基礎を学ぶ。</p> <p>またスポーツを行なうことや、その能力を高めることに心の問題は切り離せない。本講義では、スポーツ心理学の概要と自己の目標設定の考え方、情動の自己コントロールについて振り返り、起り得る問題の対策を学習する。そして生涯にわたって専門分野を探究し、その発展に貢献できるよう考え方を学ぶ。</p>
到達目標	<p>「健康と運動」、「老化と寿命」等に関しその維持と増進方法について考えるにあたって、日常生活とスポーツ、正しい筋力トレーニングやストレッチの方法を理解し、自発的に生涯に渡ってスポーツに取り組む心を身に着ける。またスポーツ心理学において、自己の目標設定と情動の自己コントロールを中心に学び、知識・行動を身に付ける。</p>
関連科目	健康スポーツ実技
成績評価方法・基準	講義時間内にレポートを実施（50％）。小テスト（50％）。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおいての、自分自身の健康や体力、栄養について管理をしておくこと。よって1日の最後の15分間で、自分自身の健康や体力、栄養について振り返るための自己分析をしてほしい。
教科書・参考書	<p>参考書</p> <p>「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院</p> <p>「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店</p>
オフィス・アワー	講義室または体育棟で、講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
衣川 隆			

授業形態	実技	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション オリエンテーションと班編成&トレーニング	衣川隆
	第2回 球技・トレーニング 腓腹筋、前脛骨筋等の下肢を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第3回 球技・トレーニング RFDの考え方を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第4回 球技・トレーニング 大臀筋、ハムストリングス等の下肢を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第5回 体力測定記録会 体力測定（長座体前屈、握力、背筋力、立ち三段跳び、反復横跳び、プッシュアップ30秒、腹筋30秒、20m）、体力測定記録会は小テストになる。	衣川隆
	第6回 球技・トレーニング 体幹を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
	第7回 球技・トレーニング 大胸筋、小胸筋、三角筋を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第8回 球技・トレーニング 菱形筋、前鋸筋等の肩甲骨周辺筋群を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第9回 球技・トレーニング アイソトニック、アイソキネティック、アイソメトリックの考え方を中心とした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
	第10回 心肺持久力記録会 20mシャトルランを実施する。この心肺持久力記録会は小テストとする。心肺機能や走力の向上を図るとともに、有酸素運動とATPの関係も学ぶ。	衣川隆
	第11回 球技・トレーニング アナトミートレインの考え方を中心にした筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第12回 球技・トレーニング PNFストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
	第13回 球技・トレーニング バランストレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バスケットボール	衣川隆
	第14回 球技・トレーニング メディシンボールを使った筋力トレーニングと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 バレーボール	衣川隆
	第15回 球技・トレーニング ドローインと静的動的ストレッチ、及び 班対抗 フットサル	衣川隆
科目の目的	<p>【技能・表現】 運動やスポーツが得意な人もあまり得意でない人も、手軽にできるトレーニングやストレッチを行い、体力をつけることを狙いとする。一人で簡単にできる筋力トレーニングやストレッチを行って、少しずつ無理なく、自分のペースでスポーツを楽しめるようにする。 各種スポーツでの身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、その保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚を促す。 各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指す。加えて、大学生活のスタート時が、より豊かで協同的な人間関係の構築と学生生活の充実の一助となるよう、そして将来チーム医療を実践するための、学生相互のコミュニケーション能力も身に付ける。</p>	

到達目標	①健康と体力の重要性を理解し、維持向上をさせる。 ②生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身に付ける。 ③自らの生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整える。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	授業時間内の実技（65％）。小テスト（35％）。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおける体調管理と生活状況管理をしておくこと。よって1日の最後の15分間で、生活リズムを振り返るための自己分析をしてほしい。
教科書・参考書	参考書 「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「運動学」伊東元 高橋正明編集 医学書院
オフィス・アワー	体育棟で授業の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称：哲学

授業コード：3P007

英文科目名称：Philosophy

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
金澤 秀嗣			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 予備考察：哲〈学〉と哲〈学史〉 本講の目的と講義計画とに関する説明 哲学概論と哲学史 哲学史は「阿呆の画廊」か	金澤 秀嗣
	第2回 古代哲学 1 存在 「ある」とはどういうことか ミレトス学派/ ピュタゴラス学派/ 多元論	金澤 秀嗣
	第3回 古代哲学 2 生成 「ある」と「なる」 エレア学派/ ヘラクレイトス	金澤 秀嗣
	第4回 古代哲学 3 形而上学 〈イデア〉と〈エイドス〉 プラトン/ アリストテレス	金澤 秀嗣
	第5回 中世哲学 1 信仰と知は両立するか 中世教父哲学における神概念と人間像	金澤 秀嗣
	第6回 中世哲学 2 普遍が先か個物が先か スコラ哲学の論理	金澤 秀嗣
	第7回 近世・近代哲学 1 大陸合理論における〈精神〉と〈物質〉 デカルト	金澤 秀嗣
	第8回 近世・近代哲学 2 イギリス経験論による事物認識 ① ホブズ/ ロック	金澤 秀嗣
	第9回 近世・近代哲学 3 イギリス経験論による事物認識 ② バークリ/ ヒューム	金澤 秀嗣
	第10回 批判哲学とドイツ観念論 1 「私は何を知りうるか」 カント『純粋理性批判』の視座：〈現象〉と〈物自体〉	金澤 秀嗣
	第11回 批判哲学とドイツ観念論 2 「私は何をなすべきか」 カント『実践理性批判』の要請：〈定言命法〉	金澤 秀嗣
	第12回 批判哲学とドイツ観念論 3 絶対的自我と共同体 フィヒテの超越論的哲学と国家論	金澤 秀嗣
	第13回 批判哲学とドイツ観念論 4 存在と認識の一致 人倫的自然としての民族 ヘーゲルによる主観的観念論・社会契約論・悟性国家論批判	金澤 秀嗣
	第14回 批判哲学とドイツ観念論 5 〈承認〉に基づく法の形成 ヘーゲルの相互承認論と法哲学	金澤 秀嗣
	第15回 講義の総括と展望 〈真理が顕現する過程〉としての哲学史	金澤 秀嗣
科目の目的	哲学とは、人間と世界との関わりをめぐってなされた先人の知的営為を体系化した学である。本講ではその成り立ちにつき、歴史の展開に即してトータルに把握できるよう講義を進めたい。差し当たり古代から近代へ至る哲学史の系譜をたどり、哲学という学問の生成と構造を明らかにすることを旨とする。	

	<p>講義は「授業計画」に則るものとする。但し、履修者の理解に鑑み、必要に応じて進捗を調整する場合もあるのでその旨留意されたい。</p> <p>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）における位置づけ：本科目は【態度】に該当する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人類の知的遺産たる哲学を学び、学士学位取得者が具備すべき知識を修得して教養を培う。 2. 1の営為を通じて、自分なりの人間観・社会観・世界観を確立する。 3. 1・2と併せて、高度の専門的職業人に必須とされる、論理的な思考方法を涵養する。
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 主として「生命倫理」・「人間と宗教」等の科目と関連を有する。 ● また特に近世・近代哲学が主題となる講義回にあつては、「法学（日本国憲法含む）」・「社会学」・「心理学」等の諸科目と関連するテーマも適宜取り上げられる。
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 期末筆記試験（論述）の成績による（100％）。 ● 詳細については初回講義時に教場にて説明する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回講義のために Active Academy にて供せられている講義資料（レジюме）をダウンロード・プリントアウトし（配布期間は原則として当該講義日までとする）、精読したうえで自分なりに要点・疑問点を摘示しておくこと。 ● 準備学習に必要な学習時間については、概ね1時間程度を目安とする。
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書は用いない。講義は講義資料（レジюме）に基づいて行われる。 ● もっとも、哲学史を概観した書籍が手元にあると講義の理解も捗るものと思料される。 ● 参考書の一例として、岩崎武雄著『西洋哲学史（再訂版）』（有斐閣）などが挙げられよう。 ● その他については、必要に応じて教場にて紹介したい。
オフィス・アワー	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義の前後（場所：教場若しくは非常勤講師控室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前に Active Academy を経由して講義資料（レジюме）をダウンロード・プリントアウトし、毎講義時に持参されたい。

講義科目名称：現代文学

授業コード：3P008

英文科目名称：Modern Literature

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
徳本 善彦			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス／「文学」とは何か？／1920～40年代の時代状況について解説する</p> <p>第2回 1920年代の文学① 同時期の児童文学の流れについて概括する</p> <p>第3回 1920年代の文学② 宮沢賢治の生涯と詩について学ぶ</p> <p>第4回 1920年代の文学③ 宮沢賢治の童話を読む</p> <p>第5回 1920年代の文学④ 宮沢賢治の童話を読む（続）／小レポート①の作成</p> <p>第6回 1930年代の文学① 小レポート①の講評／転向と文芸復興期の文学状況について概括する</p> <p>第7回 1930年代の文学② 中島敦の小説を読む</p> <p>第8回 1930年代の文学③ 中島敦の小説を読む（続）</p> <p>第9回 1930年代の文学④ 戦時下の文学表現のあり方について考える／小レポート②の作成</p> <p>第10回 1940年代の文学① 小レポート②の講評／敗戦前後の文学状況について概括する</p> <p>第11回 1940年代の文学② 太宰治と戦争（戦前から戦中にかけて）</p> <p>第12回 1940年代の文学③ 太宰治と戦争（戦後を中心に）</p> <p>第13回 1940年代の文学④ 無頼派の文学の特徴／小レポート③の作成</p> <p>第14回 既出事項のまとめ／授業内試験の実施 小レポート③の講評</p> <p>第15回 試験の講評・解説／1950年代以降の文学を見通す</p>	<p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p> <p>徳本善彦</p>
科目の目的	<p>1. 文学を通して、多様な社会・文化への幅広い視野と、他者に対する深い理解を得る。</p> <p>2. 情報を正確に読み取り論理的に組み立てる能力を涵養する。</p> <p>3. 複数回の小レポートの作成を通じて、自分の考えを他者に論理的に伝達する方法を学習する〔技能・表現〕。</p>	
到達目標	<p>1. 不明な語句・表現を調べ、自分の力で教材を丁寧に読解する。</p> <p>2. 1を踏まえて授業内で解説された作者情報や同時代状況、読みのポイントを整理する。</p> <p>3. 2を補助線にして作品をあらためて読み直す。その上で各自の初読の感想がどのように更新されたかを確認する。</p>	
関連科目	芸術・哲学・社会学	
成績評価方法・基準	授業内で課される小レポート（50%）、授業内試験（50%）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前＝配布された作品の黙読（0.5時間） ・授業後＝授業内容の復習（1.0時間） 	
教科書・参考書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布します。各自で印刷して授業に持参して下さい）。	
オフィス・アワー	授業の前後（非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の種類、宗教の研究分野、そして、3大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。</p>	竹村 一男
	<p>第2回 宗教本質論 宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想、及び昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。</p>	竹村 一男
	<p>第3回 キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史など画像を交え説明する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。</p>	竹村 一男
	<p>第4回 イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第5回 仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第6回 日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第7回 日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心にその文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。</p>	竹村 一男
	<p>第8回 世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第9回 中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第10回 新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第11回 宗教と科学 宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。</p>	竹村 一男

	<p>第12回 宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。</p> <p>第13回 グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。</p> <p>第14回 宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。</p> <p>第15回 神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。</p>	<p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p>
科目の目的	<p>宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会理解にも繋がる。なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもること、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【態度】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。 ● 宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。 ● 将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。 	
関連科目	哲学 心理学 社会学 芸術	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に並行して、比較宗教学による文献の読解をお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤 聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家 準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。	
教科書・参考書	教科書 使用しない。必要に応じてその都度、プリントを配付する。 参考書1 『ブッダの言葉』中村 元訳（岩波文庫） 参考書2 『共同訳聖書』（日本聖書協会） 参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫）	
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各回のプリントを事前にActive Campusにアップロードしておきます。受講者はプリントアウトして授業に出席してください。	

講義科目名称：芸術

授業コード：3P010

英文科目名称：Art

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイドダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第2回</p> <p>ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第3回</p> <p>劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。</p>	東 晴美
	<p>第4回</p> <p>観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともに作りあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。</p>	東 晴美
	<p>第5回</p> <p>身体：身体文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第6回</p> <p>ジェンダー：演じる性と演じられる性（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第7回</p> <p>能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。</p>	東 晴美
	<p>第8回</p> <p>狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第9回</p> <p>歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。</p>	東 晴美
	<p>第10回</p> <p>文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第11回</p> <p>ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。</p>	東 晴美
	<p>第12回</p> <p>アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。</p>	東 晴美

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	東 晴美 東 晴美 東 晴美
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【態度】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小レポート（2回）各30%、期末教場レポート30%、授業中アンケートなど10%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書・参考書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
オフィス・アワー	木曜日 14:00～14:40	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	

講義科目名称：法学（日本国憲法含む）

授業コード：3P011

英文科目名称：Law(the Constitution of Japan)

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
道下 洋夫			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 法とは何か なぜ法を学ぶのか、法とは何かについて様々な角度から考える</p> <p>第2回 法と社会・法の種類 法と社会との関わりあい方、法と医療の関わり合い方について理解する</p> <p>第3回 法の特徴・法の目的 法にはどのようなものがあるか、どのような性質を持つかについて理解する</p> <p>第4回 日本の司法制度 法的責任、訴訟事件にはどのようなものがあるかについて理解する</p> <p>第5回 憲法1 憲法の基本理念について理解する</p> <p>第6回 憲法2 基本的人権（平等権、受益権、平和的生存権）について理解する</p> <p>第7回 憲法3 基本的人権（自由権、社会権、包括的基本権）について理解する</p> <p>第8回 憲法4 統治機構（三権分立、地方自治）について理解する</p> <p>第9回 民法1 債権とは何か、契約とは何か、どんな契約があるかについて理解する</p> <p>第10回 民法2 不法行為など契約外の債権について、債権の一般的な規則について理解する</p> <p>第11回 民法3 物権とは何か、担保とは何かについて理解する</p> <p>第12回 民法4 行為能力、時効など民法の一般的な規則について理解する</p> <p>第13回 刑法1 刑法の基本原則について理解する</p> <p>第14回 刑法2 個々の犯罪、および特別法について理解する</p> <p>第15回 刑法3 構成要件、違法性、責任とは何かについて理解する</p>	道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫
科目の目的	日本は、法治国家である。法治国家においては、法令が社会の仕組みを規定しており、その実施こそが社会を動かしているという過言ではない。したがって、諸君がこれから社会人として羽ばたいていくということは、いかに細かい法令であろうと「知りませんでした」では済まない世界に飛び込んでいくということでもある。法学を学ぶ意義はここにこそある。【知識・理解】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法を中心とした日本の法システムの概要について理解する ・憲法、民法、刑法を通じて実際の法規定を概観する。 ・社会人として生きていくのに必要な法知識を習得するだけでなく、2年生以降の専門領域における各種医療関係法規・医療倫理の学習へつなげる。 	
関連科目	理学療法概論、社会福祉・地域サービス論、生命倫理	
成績評価方法・基準	定期試験(80%)、授業貢献度及び授業内レポート(20%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回講義で扱った内容について目を通しておくこと(90分程度)	
教科書・参考書	教科書：特にないが適宜に資料・統計などのプリントを配布する その他、一部法令について事前に印刷して用意すべき場合がある	
オフィス・アワー	質問等があれば、講義中あるいは講義後に受け付ける	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	講義資料は当日配布するか、前日までにActive Academyにアップする	

講義科目名称：社会学

授業コード：3P012

英文科目名称：Sociology

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
坂本 祐子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 地域社会学の概論（1） 地域社会、地域コミュニティへのアプローチ。なぜ今「地域」が重要なのか。地域社会とは何か。</p> <p>第2回 地域社会学の概論（2） 地域社会の都市化への変遷・歴史。生活の質とライフスタイルの変化。</p> <p>第3回 地域社会学の概論（3） 地域社会で解決しうる諸問題について（環境、家族、教育、福祉、防災など）①</p> <p>第4回 地域社会学の概論（4） 地域社会で解決しうる諸問題について（環境、家族、教育、福祉、防災など）②</p> <p>第5回 地域社会学の概論（5） 地域社会で解決しうる諸問題について（環境、家族、教育、福祉、防災など）③</p> <p>第6回 地域コミュニティの形成 ソーシャル・キャピタルと地域づくり</p> <p>第7回 「公共サービス」の担い手 共助社会</p> <p>8回 コミュニティ・ビジネス コミュニティ コミュニティ・ビジネスの事例から学ぶ地域社会</p> <p>9回 住民参加のまちづくり 市民参加の段階</p> <p>10回 人口減少社会 人口減少社会とまちづくり</p> <p>11回 地域おこし協力隊 地域おこし協力隊とは 事例から学ぶ</p> <p>12回 東日本大震災からの復興 災害と地域社会 人と人とのつながり</p> <p>13回 分断されるアメリカ社会 格差社会のアメリカが生む地域社会の姿</p> <p>14回 地域社会における「協働」 より暮らしやすい地域社会の在り方とは</p> <p>15回 ふりかえり これからの地域社会と私たちの生活</p>	
科目の目的	日常生活においては、あまり意識することのない「地域」であるが、様々な領域において、「地域」の重要性が再認識されている。少子高齢の進行する日本社会において、高齢者と子どもの生活も「地域」を基盤としているし、環境や防災の問題においても「地域」での解決を要する問題である。講義を通して、地域社会における問題点、自分の身近な地域における生活の問題と意味を考えることを目的とする。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会に関する基本的な知識（地域社会の概念、日本社会における歴史的な地域社会の状況、地域社会の構成要素など）を身につける。 2. 地域社会で解決しうる現代社会の諸問題について学ぶ。 3. 地域社会を身近なこととしてとらえ、地域社会に対して各自が関心と意見を持つ。 	
関連科目	大学の学び入門 環境学 経済学 社会福祉・地域サービス論 地域ボランティア活動論	
成績評価方法・基準	講義時間内に、何度か小レポートを実施。定期試験70%・小レポート30%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyにより資料を配布するので、資料内の不明な用語等を調べてくること。また、前回講義の重要事項を見直しておくこと。日頃から新聞に目を通すことを習慣にし、1週間で4時間半以上を自己学習に必要な時間の目安とする。	
教科書・参考書	使用しない	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準	なし	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を配布するので（前回講義翌日から当該日まで）、各自必ず印刷して授業に持参すること。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション 授業の進め方と、第1回から第15回までの講義内容をお話します。授業の後半部では、群馬県利根郡川場村の高齢者の元気の秘訣を、道の駅と関連付けて考えてみます。	鈴木 英恵
	第2回 医療民俗学とは！？ 私たちの生活は、先人たちの知識と知恵、そして技術の上になりたっています。ここでは、過去から現在に続く生活文化（民俗学）を軸に、医療に関連する事項を考えていきます。	鈴木 英恵
	第3回 人びとの暮らしと医療民俗学 ここでは、医療民俗学の創設について理解します。また、年中行事の意味と医療習俗の関係についてもみていきます。	鈴木 英恵
	第4回 民間信仰と石仏 路傍に佇む地藏、道祖神などの石仏は、人びとの信仰対象として古くから造立されてきました。ここでは近世後期に盛んに造られた道祖神を取り上げ、その信仰内容と現代社会で文化資源として機能する面について考えます。	鈴木 英恵
	第5回 名づけとキラキラネーム 誕生した子どもの名前、どのようにして決まるのでしょうか。ここでは、伝統的な名づけとキラキラネームの命名方法について考えます。あわせて、子どもの誕生とその習俗について理解します。	鈴木 英恵
	第6回 いのちと生死の表現 『徒然草』、熊野観心十界曼荼羅図、群馬県太田市世良田町の長楽寺に伝わる『永禄日記』など、主に中世期に成立した文学作品・図像・日記から、生死と病い、薬について読み解いてみましょう。	鈴木 英恵
	第7回 いのち観と人生儀礼 「いのち」とは一体、何を指すのでしょうか。ここでは「いのち」についてじっくり考える機会を持ちます。テキストの内容をもとに、人の一生と人生の節目となる各種儀礼の意味を理解します。	鈴木 英恵
	第8回 モノに宿る霊魂 普段私たちが何気なく使うモノには、霊魂が宿るといわれています。テキストの内容を中心に、ここでは人形の霊魂観についても考えてみます。	鈴木 英恵
	第9回 映像鑑賞 盲目の旅芸人瞽女 越後や北陸地方の村々をめぐる瞽女さんは、三味線と唄の技術を努力して獲得し、自立した生活を送りました。瞽女の生活様式をみていきましょう。	鈴木 英恵
	第10回 生きがい、健康そして長寿へ 地域社会に伝承する獅子舞の担い手は、主に老年層です。地域の老年は伝統芸能を後世に伝えようと、日々練習を重ねています。世代を超えて継承される獅子舞は、結果的に健康維持にも結び付き、生きがいへと繋がります。	鈴木 英恵
	第11回 長寿祝いの習俗と儀礼 全国各地の長寿祝いする方法をテキストから学び、高齢化社会を象徴する儀礼の特徴をみていきます。老いと福祉に関する回想法についても理解します。	鈴木 英恵
	第12回 課題レポート「死生観について」の説明 本講義では「死生観」についてレポートを提出してもらいます。今後、皆さんは医療従事者として患者やその家族と接する機会があると考えます。レポートでは自らの「死生観」を考え、生を探究することで、最終的に自身がどのような最期を迎えたいのかを書いてもらいます。「死生観」に対する自分の考えを持つことは、患者の気持ちや考慮して接することができ、同時にその家族の心理・精神的な面もサポートできるといえます。授業のなかで課題レポートの書き方の説明をします。	鈴木 英恵
	第13回 病いと民俗 カレンダーの暦と病いには、実は深い関係があります。ここではテキストを中心に、病いをめぐる人びとの関係と治癒祈願の方法を理解します。	鈴木 英恵

	<p>第14回 看取りと死、そして供養 人は誰でも最後に死に至ります。死にゆく者はどのような思いを持つのかを考えてみましょう。また家族や知人の臨終に際し、残された人はどのような行動をとるのか、テキストを中心にその心情を考えます。</p> <p>第15回 まとめ（葬送と先祖供養） 現代社会において、埋葬や先祖供養の形態は、個人やその家の考えによってさまざまに変化しています。ここでは、地域社会の伝統的な故人を偲ぶ習俗と先祖供養の方法を理解します。</p>	<p>鈴木 英恵</p> <p>鈴木 英恵</p>
科目の目的	<p>本講義では、現代医療ではなく、私たちの生活に古くから根付く病氣治癒の信仰、そして病いを予防する年中行事と儀礼の内容をていねいにみていきます。過去から現在に伝わる伝統的な生活文化には、医療・健康・病い除けに関するものが多くあります。ここでは、人びとが病いをどのように考え、如何にして立ち向かい克服してきたのかを、過去から現在まで続く人びとの習俗をとおして考えていきます。医療技術は日々進歩していますが、人は現代医療を受ける一方で、健康保持を願ってまじないやお守り、護符などを心の拠り所としています。本講義をとおし、日々の生活と医療の繋がりに気づき伝統的な生命観を理解することで、患者やその家族の精神的な面を考慮できる保健医療従事者になることを目的とします。【関心・意欲】</p>	
到達目標	<p>医療と関わりの深い伝統的な習俗、儀礼の方法を学ぶなかで、過去から伝わる医療習俗への関心と教養を身につけます。日々の生活にみられる、医療・健康保持・病い治癒などの医療的な能力を養うことは、自分なりの考えを形成する力を高めます。今後皆さんが医療従事者として活躍するにあたり、豊かなコミュニケーション能力を保持することを目標とします。</p>	
関連科目	<p>生命倫理、社会学</p>	
成績評価方法・基準	<p>試験（80％）、課題提出（20％） 試験の点数に関わらず、課題提出は必須です。課題未提出者の単位取得は認めません。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>日々の暮らしのなかで、医療に関連すること（病い治癒と予防、健康維持など）に興味を持ってください。人は生きている限り、日々病いと向き合って生きていきます。自分が病いになったとき、あるいは病いにかかりそうとき、どのような行動をして、病気を克服するのかを考えてみましょう。また、自身の身近な人たち（父母、祖父母、友人知人など）は如何にして病いと向き合い、正常な身体を取り戻したのかも考えてみましょう。日々の生活で医療に関連することを注意深く観察することで、問題点や課題を発見できるようになります。それらの意味をひとつずつ考えることで、「何故」という疑問を解決することができます。授業前に、90分ほど時間をかけてテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめてみてください。</p>	
教科書・参考書	<p>教科書：板橋春夫 2019『叢書・いのちの民俗学3 生死 看取りと臨終の民俗 ゆらぐ伝統的生命観』社会評論社</p> <p>参考書1：福田アジオほか編 2011『図解案内 日本の民俗』吉川弘文館 参考書2：根岸謙之助 1991『医療民俗学論』雄山閣 参考書3：宗田一 1984『健康と病の民俗誌 医と心のルーツ』健友館</p>	
オフィス・アワー	<p>授業の前後（場所：非常勤講師室）</p>	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：経済学

授業コード：3P014

英文科目名称：Economics

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。</p> <p>第2回 経済学の歩み（1） アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。</p> <p>第3回 国民経済の仕組み 経済の3主体（家計・企業・政府）とその関係について説明します。</p> <p>第4回 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。</p> <p>第5回 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。</p> <p>第6回 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。</p> <p>第7回 政府の役割 市場の失敗の是正、経済の安定化について説明します。</p> <p>第8回 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作政策、預金準備率操作政策、金融の量的緩和等について説明します。</p> <p>第9回 財政政策経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。</p> <p>第10回 国内総生産（GDP）（1） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。</p> <p>第11回 国内総生産（GDP）（2） 三面等価の原則の視点から「国民経済計算」（内閣府）のデータを読んでいきます。</p> <p>第12回 経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。</p> <p>第13回 貿易・国際収支（1） 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。</p> <p>第14回 為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。</p> <p>第15回 少子高齢化と日本経済 少子高齢化とは何か、少子高齢化が今後の日本経済にどのような影響を及ぼすのかについて説明します。</p>	飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義 飯島 正義
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。【知識・理解】	
到達目標	1. 経済学の基礎知識を身につけることができます。 2. 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における小テスト40%（1回、プリント参照可）、定期試験60%で総合的に評価します。 小テストのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	プリント資料で前回の授業内容を復習すると共に、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて下さい。	
教科書・参考書	教科書は使用しません。授業ではプリント資料を使います。また、参考書については必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	授業の前後の時間に講師室で対応します。	
国家試験出題基準	該当しません。	

履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。なお、資料の添付期間は前回授業翌日から2週間とします。
-------------	---

講義科目名称：環境学

授業コード：3P016

英文科目名称：Environmental Studies

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
単位認定者	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景 第2回 地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち 第3回 生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは 第4回 環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ 第5回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉍毒、四大公害病 第6回 有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として 第7回 水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD 第8回 水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり 第9回 気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加 第10回 気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測 第11回 気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定 第12回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー 第13回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と3R 第14回 低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり 第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。 【知識・理解】	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書・参考書	使用しない（プリント配布）	
オフィス・アワー	授業の前後・非常勤講師室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
佐藤 久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ヒトへの進化 生命を支える物質 (1) ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質	佐藤久美子
	第2回 生命を支える物質 (2) 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物 (糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質 (無機塩類)	佐藤久美子
	第2回・3回 生命の単位 ①ウイルス、原核細胞 (細菌類を含む)、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割	佐藤久美子
	第4回・5回 細胞の増殖・生殖細胞の形成 ①細胞周期 ②間期 (S期、G2期、G1期) ③細胞周期の調節 ④分裂期 (M期) ・体細胞分裂～染色体の構造、娘細胞への染色体 (遺伝子) の分配～ ・減数分裂～生殖細胞の形成、配偶子の形成～	佐藤久美子
	第6・7回 受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖 ②受精 ③発生と分化のしくみ 卵割と胞胚形成 ④胚葉形成 (中期胞胚変 (遷) 移と母性胚性変 (遷) 移) ⑤器官形成 ⑥形態形成とアポトーシス	佐藤久美子
	第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③A B O血液型の遺伝 ④家系図の書き方 ⑤遺伝病の原因———遺伝子変異	佐藤久美子

科目の目的	高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に生物学Aでは生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【知識・理解】
到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる。 ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する。 ④細胞の周期とその調節、体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。
関連科目	化学A、解剖学 I、生理学 I、生化学
成績評価方法・基準	定期試験の成績 (75%) 及び講義終了時に提出するリアクションペーパー (25%) により評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典 (岩波書店、東京化学同人社など) で調べ、理解しておくこと。

教科書・参考書	<p>教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄 （医歯薬出版株式会社）</p> <p>参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 （羊土社）</p>
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	生物学全般、特に生命活動を支えるエネルギーの産生や基礎生物学分野の研究が医療に活かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、後期に開講される生物学Bを併せて履修することが望ましい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
佐藤 久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回・2回 生命活動とエネルギー ①酵素の性質と酵素反応 ②生命活動とエネルギー ・光合成：光エネルギーを利用して二酸化炭素から炭水化物を作り出す過程について ・人工光合成研究開発の現状と未来計画 ・呼吸：生体のエネルギー産生とミトコンドリアの役割（解糖系からTCA回路、電子伝達系によるエネルギーの産生）について ・外呼吸と内呼吸の関係 ・動物と植物のエネルギー連関～光合成と呼吸～</p> <p>第3回・4回 遺伝ーヒトを中心にーその1 ①DNA複製のしくみ ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ ④原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ⑤性染色体の不活性化 ⑥エピジェネティクス</p> <p>第5回・6回 遺伝ーヒトを中心にーその2 ①単一形質（メンデル形質）で発現する遺伝病 ・常染色体性優性遺伝病、・劣性遺伝病と伴性遺伝病 ・保因者、患者の出現頻度ーハーディーワインベルグの法則の有用性ー ②多因子遺伝病 ③染色体異常 ④ミトコンドリア病 ⑤体細胞遺伝病</p> <p>第6回・7回 ヒトの受精と初期発生 ①ヒトの配偶子形成：減数分裂と遺伝子の組み換え、精子と卵子の形成 ②受精：精子の先体反応、受精と多精拒否の機構 ③胚盤胞の形成と着床 ・始原生殖細胞の形成 ・内細胞塊の分化と胚葉の形成 ⑤胚葉の分化 ⑥前胚子期と胚子期 ⑦発生をつかさどる遺伝子 ⑧先天異常発生の要因</p> <p>第8回 細胞科学の先端研究と医療への応用 ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチンプロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞周期調節のしくみとがん化 ⑤細胞分裂の限界と老化</p>	<p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p>
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、生物学Aで学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常及びヒトの初期発生について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する基礎生物学分野の研究進捗状況について理解する。【知識・理解】</p>	
到達目標	<p>生物学Aの学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①光合成によるエネルギー獲得の詳細と呼吸による生命活動のエネルギー産生について詳細に説明できる。 ②真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、情報発現コントロール、DNAの変異などについて知識を深める。 ③ヒトのメンデル様式による遺伝病およびそれ以外の要因による遺伝病について学び、説明できる。 ④ヒトの受精、発生初期における細胞分裂の詳細と形態形成及び先天異常発生の要因について学び、説明できる。 ⑤細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。</p>	
関連科目	生物学A、化学A、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	

成績評価方法・基準	定期試験の成績（75%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（25%）により評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルー-ボックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	生物学Aを履修していることが望ましい。

講義科目名称：数学A

授業コード：3P019

英文科目名称：Mathematics A

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式 多項式の四則演算を復習する。日常で数や式を操作するセンスを伸ばすことを促す。	井上 浩一
	第2回 方程式と不等式 1次不等式、2次方程式の復習をする。日常や医療の場でもそのセンスを役立てることを促す	井上 浩一
	第3回 2次関数 関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最少の求め方を整理する。 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係。 生活の中で数量的なセンスを発揮することを促す。	井上 浩一
	第4回 図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。 生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	井上 浩一
	第5回 個数の処理 集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第6回 確率 事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	井上 浩一
	第7回 論理と命題 命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的なものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	井上 浩一
	第8回 基礎統計学 統計学の基礎的な概念と方法を学ぶ。	井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と計量、場合の数と確率、基礎統計学について学ぶ。【知識・理解】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	数学B、化学A・B、物理学A・B	
成績評価方法・基準	筆記試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学教科書の相当部分を読んでから講義に臨めばより効果的であるが、予習よりも講義内容の復習を期待する。前回の内容が定着したかどうかを確認しておくことが、次の講義の準備学習である。 ・1コマあたりの学習時間の目安は4時間	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回、講義内容に関連する内容のプリントを準備し、Active Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	・意欲があれば数学Bも履修することが望ましい。 ・毎回、講義内容に関連する内容のプリントを準備し、Active Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	

講義科目名称：数学B

授業コード：3P020

英文科目名称：Mathematics B

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 三角関数 一般角と弧度法，三角関数の加法定理，三角関数の合成，和と積の変換 第2回 複素数 複素数の導入と計算方法，複素共役，剰余の定理，因数定理 第3回 指数関数と対数関数 指数法則，実数のべき，対数の導入，対数法則，底の変換公式 第4回 ベクトルと行列 ベクトル・行列の導入，基本的な性質 第5回 微分の導入 微分の定義，整式の微分，極大値・極小値 第6回 微分の基本性質 積・商の微分，合成関数の微分，三角関数・指数関数・対数関数の微分 第7回 積分の導入 積分の定義，整式の積分，図形の面積 第8回 積分の応用 置換積分，部分積分，三角関数・指数関数・対数関数の積分，微分方程式。	井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一
科目の目的	医療従事者には、個々の患者の生理的状態や疾病状態、患者集団の動向などを種々のデータによって定量的にとらえ、分析・評価する能力が求められる。また患者への治療・検査刺激の量的な理解と評価も重要である。本科目はそれらのための基礎的数学知識の確認に加えて、発展的な知識を身につけ、専門科目の円滑な理解につなぐことを目指す。具体的には、三角関数、複素数、指数関数、対数関数、ベクトルと行列、微分・積分、微分方程式、部分積分などについて学ぶ。 【知識・理解】	
到達目標	1. 医療や科学を学ぶためのやや進んだ数学的な知識と技能を学ぶ。 2. 数理現象を理解したり、評価したり、扱ったりする数学的なセンスを養う。	
関連科目	数学A、化学A・B、物理学A・B	
成績評価方法・基準	筆記試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数学の教科書の該当する部分を読んでから講義に臨めばより効果的であるが、受講生には予習よりも、講義の復習を期待する。前回学んだ内容を理解し復習しておくことが次の講義の準備となる。 ・1コマあたりの学習時間の目安は4時間 	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回資料を作成し、Active Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 配布方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Aも履修することが望ましい ・毎回資料を作成し、Active Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 配布方法：各自印刷して授業に持参すること 	

講義科目名称：化学A

授業コード：3P021

英文科目名称：Chemistry A

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。	日置 英彰
	第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。	日置 英彰
	第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。	日置 英彰
	第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。	日置 英彰
	第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異な形、一般的な性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と浸透や物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。	日置 英彰
	第7回 酸と塩基 酸、塩基、緩衝液について解説する。	日置 英彰
	第8回 酸化と還元 物質の酸化と還元、生体内での酸化還元反応について解説する。	日置 英彰
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程の理解のための基礎的知識を身につけることを目的とする。 [知識・理解]	
到達目標	専門課程で学習する内容を理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパーの提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確認するために、各講義ごとに出题されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特に指定なし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	

講義科目名称：化学B

授業コード：3P022

英文科目名称：Chemistry B

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病気と闘う化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら、医療と化学がどのように関わっているのか考える。	日置 英彰
	第2回 生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要な役割を果たしている。これら有機化合物の性質を官能基別に解説する。	日置 英彰
	第3回 生体高分子 糖、タンパク質、核酸の化学構造とその性質について解説する。	日置 英彰
	第4回 合成高分子 医療機器には多くの高分子素材が使われている。各種合成高分子の性質と医療機器への応用について解説する。	日置 英彰
	第5回 化学反応の速度 化学反応の速度の測定方法、速度に影響を与える要因について解説する。	日置 英彰
	第6回 触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している。化学反応における触媒の役割、酵素の構造と触媒作用について解説する。	日置 英彰
	第7回 化学分析 化学分析の原理を学ぶ。医学で利用されている分析法についても触れる。	日置 英彰
	第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。	日置 英彰
科目の目的	医療と化学の関係は深い。生命活動自身が秩序だった化学反応であり、医薬品、医用材料、臨床検査薬等を扱うには化学的な見方・考え方は重要である。本講義ではその基本的知識を習得する。 [知識・理解]	
到達目標	生体関連物質、医薬品、医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパーの提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確認するために、各講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特になし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	

講義科目名称：物理学A

授業コード：3P023

英文科目名称：Physics A

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
佐藤 求			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 物理量の次元と単位 補助単位、組立単位、同次元の単位の変換。 第2回 静止系 力の釣り合い、モーメントの釣り合い、バネの力。 第3回 運動 瞬間の速度、加速度。等速直線運動、等加速度運動。 第4回 運動方程式 1 力学の問題の標準的な手続き。 第5回 運動方程式 2 坂道、バネなどの典型問題。 第6回 仕事とエネルギー 位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギー。エネルギー保存則。 第7回 円運動 等速円運動。 第8回 バネと単振動 単振動	佐藤求 佐藤求 佐藤求 佐藤求 佐藤求 佐藤求 佐藤求 佐藤求
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 高校物理を履修済みの学生にとっても新たな発見があるよう、別の視点の紹介も行う。 [知識・理解]	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。 分野は概ね初等力学。	
関連科目	物理学B、運動学I・II、物理療法学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度（定期試験前の復習は別）	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	水曜日 15時～17時（それ以外でも時間の許す限り）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

講義科目名称：物理学B

授業コード：3P024

英文科目名称：Physics B

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
佐藤 求			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 熱現象 1 熱と温度、比熱	佐藤求
	第2回 熱現象 2 気体の状態方程式、仕事と熱	佐藤求
	第3回 熱現象 3 気体分子運動論	佐藤求
	第4回 波動 1 回折、屈折、波の式、干渉	佐藤求
	第5回 波動 2 ドップラー効果	佐藤求
	第6回 電気の基礎 1 抵抗回路の基礎、電位の概念	佐藤求
	第7回 電気の基礎 2 キルヒホッフの法則、電力	佐藤求
	第8回 電磁波・放射線 電磁波と各種核崩壊	佐藤求
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 物理学Aに続き熱と波動、電気の基礎を学ぶ。 [知識・理解]	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。	
関連科目	物理学A、運動学I・II、物理療法学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分のプリントの演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	木曜日 15時～17時（それ以外でも時間の許す限り）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

講義科目名称：英語リーディング

授業コード：3P025

英文科目名称：General English Reading

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
柴田 恵美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction、Self Introduction 授業の説明 (intensive reading含む)	柴田
	第2回 Lesson 1 Communication communicationの持つ力についての会話練習、英文読解。(課題) Grammar for Communicationを参考にして自己紹介をしてみる。	柴田
	第3回 Lesson 2 Friendship 課題のフィードバック。様々なfriendshipの形についての会話練習、英文読解。Grammar for Communicationを参考にして、思い出を説明してみる。	柴田
	第4回 Lesson 3 Health healthに留意することの意義についての会話練習、英文読解。Grammar for Communicationを参考にして自分の予定を伝える。(課題) 例をあげて自分の趣味を説明する。	柴田
	第5回 Lesson 4 Environment 課題のフィードバック。絶滅危惧種を守るためにすべきことについての会話練習、英文読解。Grammar for Communicationを参考にして、自分の気持ちや判断を相手に伝えてみる。	柴田
	第6回 Lesson 5 Fashion 着物の変遷に関する会話練習、英文読解。Grammar for Communicationを参考に情報を付け加えて表現してみる。	柴田
	第7回 Lesson 6 Food 人気のある食べ物についての会話練習、英文読解。(課題) Grammar for CommunicationとWritingを参考に、一日の出来事について時系列に説明してみる。	柴田
	第8回 Lesson 7 Science & Technology 課題のフィードバック。スマートフォンの歴史に関する会話練習、英文読解。Grammar for Communicationを参考に、比較表現を使って伝えてみる。	柴田
	第9回 Lesson 8 Study Abroad 海外留学の意義についての会話練習、英文読解。Grammar for Communicationを参考に、2つ以上のことを比べて説明してみる。	柴田
	第10回 Lesson 9 College Life in the U.S. 日本とアメリカの大学生活の違いについての会話練習、英文読解。(課題) Writingの例文を参考に手順を説明する文章を書いてみる。	柴田
	第11回 Lesson 10 Steve Jobs 課題のフィードバック。Steve Jobsの生き方に関する会話練習、英文読解。Grammar for Communicationを参考に、自分の願いを伝えてみる。	柴田
	第12回 Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する会話練習、英文読解。(課題) Writingの指示を参考に3つのパラグラフから成る文章を書いてみる。	柴田
	第13回 Lesson 12 Internship 課題のフィードバック。インターンシップの意義についての会話練習、英文読解。(課題) Writingのサンプルを参考に手紙を書いてみる。	柴田
	第14回 Lesson 13 Travel 課題のフィードバック。交通手段の発展の歴史に関する会話練習、英文読解。Grammar for Communicationを参考に、関連性のある文章を書いてみる。	柴田
	第15回 Lesson 14 Culture カルチャーショックに関しての会話練習、英文読解。Writingの指示に従って2つの文化を比較して、類似点、相違点を説明する	柴田
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通して、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【技能・表現】	

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング
成績評価方法・基準	期試験（60%）課題(30%) extensive reading(10%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。</p> <p>復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。</p>
教科書・参考書	教科書：Journeys: Communication for the Future 阿野幸一ほか4名（朝日出版社）
オフィス・アワー	授業終了後 20分 非常勤講師室
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。辞書を授業に持ってくること。

講義科目名称：医療英語会話

授業コード：3P026

英文科目名称：Medical English Conversation

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction/Icebreaking Introduction to the course, class format, expectations, syllabus, and grading scale, as well as personal introductions and commonly used phrases and questions for use in class.	David Andrews
	第2回 Unit 1: Meeting patients	David Andrews
	第3回 Quiz (short test) on Unit 1 + Unit 2: Taking a medical history	David Andrews
	第4回 Quiz (short test) on Unit 2 + Unit 3: Assessing symptoms	David Andrews
	第5回 Quiz (short test) on Unit 3 + Part I of Unit 4: Taking vital signs + Prepare for 1st Presentation	David Andrews
	第6回 1st Presentation + Part II of Unit 4: Taking vital signs Presentations will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 1-4.	David Andrews
	第7回 Quiz (short test) on Unit 4 + Unit 5: Taking a specimen	David Andrews
	第8回 Quiz (short test) on Unit 5 + Unit 6: Conducting a medical examination	David Andrews
	第9回 Quiz (short test) on Unit 6 + Unit 7: Assessing pain	David Andrews
	第10回 Quiz (short test) on Unit 7 + Part I of Unit 8: Advising about medication + Prepare for 2nd Presentation	David Andrews
	第11回 2nd Presentation + Part II of Unit 8: Advising about medication Presentations will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 5-8.	David Andrews
	第12回 Quiz (short test) on Unit 8 + Unit 9: Improving Patients' mobility	David Andrews
	第13回 Quiz (short test) on Unit 9 + Unit 10: Maintaining a good diet	David Andrews
	第14回 Quiz (short test) on Unit 10 + Unit 11: Caring for inpatients	David Andrews
	第15回 Unit 12: Coping with emergencies + Prepare for Final Presentation	David Andrews
科目の目的	Medicine is undeniably a global field in which ideas are shared in the international language of English. This course will introduce students to helpful communication strategies and explore communicative skills in English that are of particular relevance to the field of medicine. [技能・表現]	
到達目標	Students will be able to: 1) handle a wide variety of medical situations using English, 2) understand and actively use accepted terminology and phraseology to explain and discuss major medical topics, and 3) build a foundation in medical English upon which to further their studies toward becoming professionals in their chosen field of medicine.	
関連科目	Related to all English courses	
成績評価方法・基準	1. In-class quizzes (short tests) (30%: 3% x 10 quizzes) These will cover material from the text and will be graded in class. 2. Two midterm presentations (done in pairs but graded individually) (35%: 1st=15%; 2nd=20%) Students will prepare and give presentations in pairs on relevant topics. 3. Final presentation (done in pairs but graded individually) (35%) Final presentation will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 1-12.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Each week we will practice and review a chapter from the text. Please read the dialogs, understand key vocabulary, and be prepared to speak in class. Listening practice is also important. Please use the online resources to practice listening. Each chapter will	

	require about 30-60 minutes on your own to review and study. In addition, you will need about 6 hours during the semester to prepare for presentations.
教科書・参考書	Caring For People
オフィス・アワー	During lunch of class day in my office
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	Be prepared to speak in class individually, in pairs, and in small groups. Review the vocabulary and grammar from the text in order to use it in class. This syllabus is subject to change.

講義科目名称：中国語

授業コード：3P030

英文科目名称：Chinese

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 中国語とは？ 中国語の発音 発音、漢字、声調 第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調 第3回 子音の発音 子音と声調 第4回 第1課の学習 自己紹介 名前を中国語で読む練習 第5回 第1課の復習とドリル 発音と声調の組み合わせ練習 第6回 第2課の学習 どうなさいましたか 会話と表現の学習 第7回 第2課の復習とドリル 身体各部位の名称 第8回 発音と声調の総復習 中間レポート提出 第9回 第3課の学習 この薬はどう飲みますか 会話と表現の学習 第10回 第3課の復習とドリル 人体解剖図（各臓器の読み方） 第11回 第4課の学習 病室はどこですか 会話と表現 第12回 第5課の学習 具合はいかがですか 会話と表現 第13回 第6課の学習 心配いりません 会話と表現 第14回 第7課の学習 退院おめでとう 会話と表現 第15回 第1課から第7課までの復習 総合復習	深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子 深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。[技能・表現]	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、CDを聞きながら発声して覚えるように。	
教科書・参考書	教科書：医療系中国語会話（白帝社） 参考書：なし	
オフィス・アワー	講義の前後	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第6回 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	基礎的なコリア語を学ぶと同時に、韓国社会や文化への理解も深める。（技能・表現）	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	
関連科目	特になし。	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40%）・期末テスト（60%）	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書・参考書	講師作成教材使用予定(コピー)
オフィス・アワー	コリア語の授業のある日12:30~12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。

講義科目名称：ドイツ語

授業コード：3P032

英文科目名称：German

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
菅谷 優			

授業形態	講義	担当者
授業計画	Lektion1 動詞の現在人称変化1 Lektion2 名詞と冠詞の格変化 Lektion3 名詞の複数形・人称代名詞 Lektion4 動詞の現在人称変化2・命令法 Lektion5 定冠詞類・不定冠詞類 Lektion6 前置詞 Lektion7 話法の助動詞・未来形・非人称動詞 Lektion8 分離動詞と非分離動詞・接続詞 Lektion9 動詞の三基本形・過去人称変化 Lektion10 現在完了・再帰表現 Lektion11 形容詞の格変化 Lektion12 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞 Lektion13 関係代名詞・指示代名詞 Lektion14 受動態 Lektion15 接続法	
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。[技術・表現]	
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。	
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理	
成績評価方法・基準	授業内レポート50%、期末試験50%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間	
教科書・参考書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01251-4を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。参考書として朝日出版社から出ている単語帳：ドイツ語基礎単語帳をお勧めいたします。	
オフィス・アワー	火曜五限終了後、非常勤講師室にて	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：ポルトガル語

授業コード：3P033

英文科目名称：Portuguese

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
宮入 亮			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション ポルトガル語について、簡単な挨拶、ポルトガル語の読み方 ポルトガル語の読み方	宮入 亮
	第2回 自己紹介ができる 自己紹介の表現 国籍の表現 動詞ser (be動詞) 疑問文と否定文	宮入 亮
	第3回 好きなものを伝えることができる 趣味の表現 色の表現 動詞gostar	宮入 亮
	第4回 家族を紹介することができる 家族の表現 動詞の現在形(規則・不規則)	宮入 亮
	第5回 予定の表現や約束の表現ができる 誘いかけの表現 曜日の表現 動詞ir	宮入 亮
	第6回 今おこなっていることの表現、天気表現ができる 進行の表現 天候の表現 動詞estar	宮入 亮
	第7回 週末にしたことを表現できる 過去の表現 動詞の完了過去形(規則・不規則)	宮入 亮
	第8回 過去の習慣の表現ができる 子どもの頃の習慣の表現 動詞の未完了過去形	宮入 亮
	第9回 「もし～だったら」と誘う表現ができる 「もし～だったら」、「～する時は」の表現 誘う表現 動詞の接続法未来形	宮入 亮
	第10回 指示や命令の表現ができる 道案内の表現 指示やお願いの表現 動詞の命令法	宮入 亮
	第11回 願望や要求の表現ができる したいことを伝える表現 してほしいことを伝える表現 動詞querer 目的語の代名詞	宮入 亮
	第12回 許可の表現、お願いの表現、時刻の表現ができる 許可の表現 動詞poder 時刻の表現・時点の表現	宮入 亮
	第13回 丁寧なお願いや許可の表現 丁寧の表現 動詞の過去未来形	宮入 亮

	第14回 比較の表現ができる 比較の表現	宮入 亮
	第15回 別れや感謝の表現ができる 別れや感謝の表現	宮入 亮
科目の目的	<p>【技能・表現】 ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会が多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。</p>	
到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	<p>期末試験(70%)、授業5回毎に行う小テスト(3回実施で各10%、計30%) 小テストは第5回、第9回、第13回の授業内で実施します。各小テストは、翌週に返却し解説します。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>毎回先入観なく新しい内容を学習していただきたいため、予習は不要とします。 ただし、復習は授業直後と授業直前に毎回30分ほど行ってください。</p>	
教科書・参考書	<p>(教科書) 市之瀬敦他. 『Boa Sorte!-会話で学ぶポルトガル語-』. 朝日出版社.</p> <p>(参考書) 黒澤直俊他(編). 『デイリー日葡英・葡日英辞典』. 三省堂. 市之瀬敦他(編). 『プログレッシブポルトガル語辞典』. 小学館.</p> <p>その他、資料配布や、自習用アプリの紹介などいたします。</p>	
オフィス・アワー	<p>授業前、授業後の時間 (水曜日1限・2限の授業前後)</p>	
国家試験出題基準	特になし	
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>	

講義科目名称：情報処理

授業コード：3P034

英文科目名称：Information Processing

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
西谷 泉			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回 情報と検索の活用 情報の意義と情報収集の方法、具体的な活用について学ぶ テキスト：(A:第1章)情報と検索の活用 参照 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第2回 インターネットの仕組み インターネットの仕組みと情報活用について学ぶ テキスト：(A:第13章)インターネットの仕組み、 参考(B:第3章)インターネットの技術 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第3回 情報セキュリティ 情報セキュリティの基本的な考え方を学ぶ テキスト (A:第12章)情報セキュリティ 参考(B:第5章)情報セキュリティ 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第4回 情報発信の方法とモラル 情報発信、ICTコミュニケーションの特徴と情報モラルについて学ぶ テキスト (A:第14章)情報発信の方法とモラル 参考(B:第6章)情報倫理 参照 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第5回 文書作成の基本 文書作成の基本、文章作成の基本事項を学ぶ テキスト (A:第2章)文書作成の基本 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第6回 レポートの作成 (1) ～基本形式とワープロの基礎～ レポートの作成について MS-Wordを用いて、基本形式を学ぶ。 テキスト(A:第3章)レポートの作成 (1) ～基本形式とワープロの基礎～ 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第7回 レポートの作成 (2) ～表作成とデータ管理～ レポート作成における表作成、データ管理について基本事項を学ぶ テキスト (A:第4章)レポートの作成 (2) ～表作成とデータ管理～ 参照 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第8回 レポートの作成 (3) ～画像の挿入と文章校正～ レポート作成における画像挿入、文書校正について基本事項を学ぶ テキスト (A:第5章)レポートの作成 (3) ～画像の挿入と文章校正～ 参照 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第9回 プレゼンテーション (1) ～スライド作成の基本～ プレゼンテーションの基本的な概念と具体的方法を学ぶ テキスト (A:第10章)プレゼンテーション (1) ～スライド作成の基本～ 参照 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第10回 プレゼンテーション (2) ～効果的なプレゼンとは～ 効果的なプレゼンテーションを行うための基本事項について学ぶ テキスト (A:11章)プレゼンテーション (2) ～効果的なプレゼンとは～ 参照 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第11回 表計算 (1) ～表計算の基本～ スプレッドシートによるデータ処理の基本的概念をMS-Excelを用いて学ぶ テキスト (A:第6章)表計算 (1) ～表計算の基本～ 参照 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第12回 表計算 (2) ～絶対参照とIF～ スプレッドシートによるセル参照の基本的概念をMS-Excelを用いて学ぶ テキスト (A:第7章)表計算 (2) ～絶対参照とIF～ 参照 課題等は返却はしない	西谷 泉

	第13回	表計算 (3) ～グラフ作成と分析～ スプレッドシートによるグラフ作成の基本的概念をMS-Excelを用いて学ぶ テキスト (A:第8章)表計算 (3) ～グラフ作成と分析～ 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第14回	表計算 (4) ～抽出と並べ替え～ スプレッドシートによるデータ処理の基本的概念をMS-Excelを用いて学ぶ テキスト (A:第9章)表計算 (4) ～抽出と並べ替え～ 参照 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第15回	情報を集め、まとめる 情報収集と情報発信、情報をまとめることの意義について学ぶ テキスト (A:第15章)情報を集め、まとめる 参照 課題等は返却はしない	西谷 泉
科目の目的	現代社会には情報があふれており、私たちはそのかなりの量を情報通信機器を使って得る。大学での学習も情報通信機器を扱うスキルによって影響を受けることは確実である。本科目では大学での学びを充実させるために、情報通信機器の基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。[技能・表現]		
到達目標	パーソナルコンピュータや、インターネットを通して情報を活用する能力を身につける。また、情報の意味、伝達の意義について学習する。 個別目標： 1. 情報の概念について説明できる。 2. パーソナル・コンピュータの基本操作が行える。 3. ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。		
関連科目	情報リテラシー		
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎の演習課題60%、Eラーニング・ミニテスト40%）100%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネット上のクラウド型学習コンテンツサービスを利用して、授業、自己学習、関連項目の学習、ミニテストを演習を通して実施します。 関連する項目を1時間程度の事前学習で理解し、併せて関連サイトを自己学習することが望まれます。		
教科書・参考書	教科書：日経パソコンEduクラウド型教育コンテンツ提供サービス：日経BP出版 (A)基本から分かる情報リテラシー 日経BP出版（群馬パース大学団体契約版）		
オフィス・アワー	未定		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	大学から恵与されるWindowsタブレットを持参してください。 養護教諭2種免許取得のための要件科目		

講義科目名称：情報リテラシー

授業コード：3P035

英文科目名称：Information Literacy

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
西谷 泉			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 OSとアプリケーションソフト ハードウェアとソフトウェア パソコンEdu. (B) 第1章 OSとアプリケーションソフト 1. OSとは何か 2. アプリケーションソフト 課題等は返却はしない</p>	西谷 泉
	<p>第2回 コンピュータの仕組み(1) コンピューターシステムの基本的なしくみについて学ぶ パソコンEdu. (B) 第2章 コンピューターの仕組み 1. コンピューターの歴史 2. コンピューターの処理の基本 3. 文字コードとフォント 課題等は返却はしない</p>	西谷 泉
	<p>第3回 コンピュータの仕組み(2) コンピューターシステムの基本的なしくみについて学ぶ パソコンEdu. (B) 第2章 コンピューターの仕組み 4. パソコンの仕組み 5. タブレットとスマートフォン 6. 周辺機器と光ディスク 課題等は返却はしない</p>	西谷 泉
	<p>第4回 インターネットの技術(1) インターネットの仕組みについて技術的側面から学ぶ パソコンEdu. (B) 第3章 インターネットの技術 1. LAN/無線LAN 2. インターネットの仕組み 3. Webページとブラウザ 課題等は返却はしない</p>	西谷 泉
	<p>第5回 インターネットの技術(2) インターネットの仕組みについて技術的側面から学ぶ パソコンEdu. (B) 第3章 インターネットの技術 4. 電子メールの仕組み 5. ネットサービスとは何か 課題等は返却はしない</p>	西谷 泉
	<p>第6回 マルチメディア 様々なマルチメディアについて学ぶ パソコンEdu. (B) 第4章 マルチメディア 1. マルチメディアと音声データ 2. 画像データと動画データ 3. ファイル圧縮 課題等は返却はしない</p>	西谷 泉
	<p>第7回 情報セキュリティ(1) 情報を扱う上で重要な情報セキュリティについてその基本的概念を学ぶ パソコンEdu. (B) 第5章 情報セキュリティ 1. コンピューターウイルスの正体 2. ネット詐欺から身を守る法 課題等は返却はしない</p>	西谷 泉
	<p>第8回 情報セキュリティ(2) 情報を扱う上で重要な情報セキュリティについてその基本的概念を学ぶ パソコンEdu. (B) 第5章 情報セキュリティ 3. 情報漏洩と暗号化 4. パスワードの正しい管理法 パソコンEdu. ネットの脅威と対策 強いパスワードの現実解 課題等は返却はしない</p>	西谷 泉
	<p>第9回 情報倫理 情報を扱う上で重要な情報倫理についてその基本的概念を学ぶ パソコンEdu. (B) 第6章 情報倫理 1. 情報社会の権利と法律 課題等は返却はしない</p>	西谷 泉

	第10回	著作権と個人情報保護 情報を扱う上で重要な著作権についてその基本的概念を学ぶ パソコンEdu. (B) 第6章 情報倫理 2. 著作権の基礎と著作物の活用 パソコンEdu. 著作権の基礎と著作物の活用 参考 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第11回	ネットコミュニケーション インターネットに代表されるネットワークコミュニケーションについて学ぶ パソコンEdu. (B) 第6章 情報倫理 3. ネットコミュニケーションの作法 パソコンEdu. パソコン法律相談所、メールの作法 参考 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第12回	情報と社会 身の回りのコンピューターシステムを通して情報と社会について学ぶ パソコンEdu. (B) 第7章 情報と社会 1. 身の回りのコンピューターシステム 2. 電子マネー 3. 情報デザインの作法 参考 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第13回	SNSによる情報収集と情報発信 ソーシャルネットワーキングサービスについて情報収集と発信について学ぶ パソコンEdu. ネットサービス活用術 SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第14回	情報収集と保管・管理 クラウドサービスによる情報保管と管理について学ぶ パソコンEdu. ネットサービス活用術 Web/クラウドサービス 参考 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第15回	情報リテラシーのまとめ 情報リテラシーのまとめ この科目を通して、学んだこと習得した知識、技術を確認しよう。 課題等は返却はしない	西谷 泉
科目の目的	情報通信技術の発展に伴い、その技術に通じることは現代社会で生きていくためには不可欠な要素となっている。情報通信技術は便利で欠かせないものではあるが、その使い方を一歩誤ると、他者を傷つけたり、犯罪となったり、あるいは犯罪に巻き込まれたりすることになる。大きな社会問題に発展するケースも少なくない。本科目では、情報通信機器にあふれた現代社会を生きる一員として、情報通信技術を使う際の基本的なルールやモラルについて学ぶ。また学生各自が自らの学習や研究、将来医療専門職として仕事に利用するための情報セキュリティの考え方を学ぶ。[知識・理解]		
到達目標	情報と意思決定の関係やメディアリテラシーの重要性を理解する。 個別目標： 1. さまざまな情報メディアを通して情報を活用する能力を身につける。 2. マルチメディアによる情報表現の手法を理解し、基本的ルールやモラルを説明できる。 3. 情報表現における倫理を理解し、情報セキュリティを实践できる。		
関連科目	情報処理		
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎の演習課題60%、Eラーニング・ミニテスト40%）100%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネット上のクラウド型学習コンテンツサービスを利用して、授業、自己学習、関連項目の学習、ミニテストを演習を通して実施します。関連する項目を1時間程度の事前学習で理解し、併せて関連サイトを自己学習することが望まれます。		
教科書・参考書	教科書：日経パソコンEduクラウド型教育コンテンツ提供サービス：日経BP出版 (A)基本から分かる情報リテラシー 日経BP出版（群馬パース大学団体契約版） （* 前期「情報処理」で使用した教科書ですので、再度購入する必要はありません。）		
オフィス・アワー	未定		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	大学から恵与されるWindowsタブレットを持参してください。 養護教諭2種免許取得のための要件科目		

講義科目名称：囲碁で学ぶ情報戦略

授業コード：3P036

英文科目名称：Strategic Information by Go

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
土屋 仁			

授業形態	講義、実践対局	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス(自己紹介) 授業進行の説明 第2回 ルール解説(6路盤) 基本を理解する。：囲碁の5つのルールに関する説明、石を取る練習 第3回 ルールの復習、終局の説明(6路盤) 工夫をする重要性を学ぶ。：6路盤を用いて実践対局、囲碁の終局の解説 第4回 9路対局と終局の理解(9路盤) 状況判断ができる。：9路盤模範囲碁の解説と実践 第5回 9路対局と石を取るための初歩的技術 自分で決断できる。：9路盤模範囲碁の解説と実践 第6回 問題演習①(19路盤) 布石の考え方を身に着ける。：ルールの理解と確認 第7回 模範碁の解説と対局①(19路盤) 実行した結果に責任を持つ。：19路盤模範囲碁の解説と実践対局 第8回 模範碁の解説と対局②(19路盤)(青木) 見えていることが見えていないことを知る。：19路盤模範囲碁の解説と実践対局 第9回 模範碁の解説と対局③(19路盤) 欲張ると破たんすることを知る。：19路盤模範囲碁の解説と実践対局 第10回 模範碁の解説と対局④(19路盤) 正しい大局観を持てるようになる。：19路盤模範囲碁の解説と実践対局 第11回 9子局の解説、連碁対局(19路盤) 局所的判断と大局観が両立できる。：19路盤模範囲碁の解説と実践対局 第12回 模範碁の解説と対局⑤ ペア碁対局(19路盤) 先を読み力できる。：19路盤模範囲碁の解説とペア碁の実践対局 第13回 模範碁の解説と対局⑥(19路盤) 考える習慣がつく。：19路盤模範囲碁の解説と実践対局 第14回 問題演習① 解説、囲碁の世界 頑張ってもできない経験ができる。：石の取り方、二眼生きの解説 第15回 代表者対局(まとめ)(19路盤) すぐすべきこと、後でも可能なことの判断力を磨く。：19路盤で学生代表ペア2組、と9子局での対局	青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代 青木喜久代
科目の目的	<p>囲碁のルールを習得し、19路盤で対局ができるようになること。囲碁は日本の伝統文化だけではなく、国際的にも広く普及し親しまれているゲームである。このゲームに勝つには大局観が必要であり、この大局観を実践を通じて判断力、分析力、集中力、問題解決する能力を養うことができる。この大局観は、医療現場において、必要欠くべからざるものである。特に当直や、日直等、業務を一人でこなす場合には、自己判断でトリアージ(検査における優先順位)を付け、業務を行わなければならない。このトリアージを実践に置き換えて学ぶことができる。このことは、多様な情報を適切に分析し、問題を解決する方法を身に着けることができる。</p>	
到達目標	「考える力」、「判断力」を磨き、先を読む力を習得する。	
関連科目	救急法	
成績評価方法・基準	ミニテスト(実践アンケート含む:毎回)テストの解説は、次回の講義で行う。(20%)、6、12回演習問題(80%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業内容について復習を行い理解しておくこと。 ・準備学習時間の目安は20分。 	
教科書・参考書	教科書：光文社新書「東大教養囲碁講座」 参考書：日本棋院「実践囲碁総合演習」	
オフィス・アワー	随時(昼休みが良い)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：大学の学び入門

授業コード：3P037

英文科目名称：Introduction to College Learning

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
杉田 雅子	星野修平	榎本光邦	

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 科目の説明、大学生の学習・生活、アカデミック・スキルとスチューデント・スキル 科目の目的・目標・進め方の説明、高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い、アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは</p> <p>第2回 聞く（1） 講義の聞き方、ノートの取り方と実践 ゲストスピーカー：樋口建介理事長</p> <p>第3回 インターネットリテラシー インターネット利用のルールとマナー 1</p> <p>第4回 インターネットリテラシー インターネット利用のルールとマナー 2</p> <p>第5回 聞く（2）・読む・考える 授業の受け方、本や資料の読み方、考える力をつけるには</p> <p>第6回 書く：レポートの書き方 1 レポートとは何か レポート作成の手順</p> <p>第7回 書く：レポートの書き方 2 論文作法</p> <p>第8回 書く：レポートの書き方 3 レポートの形式</p> <p>第9回 調べる 情報を探す</p> <p>第10回 相手の話を聴く ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する</p> <p>第11回 自分自身の課題を見つける 入学以来の自身の学習と生活を検証し、学習、生活両面の自己課題を見出す</p> <p>第12回 自分の気持ちや考えを伝える グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする</p> <p>第13回 協力して作業する これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する</p> <p>第14回 アカデミック・スキルの実践（1） 書くことの実践：レポート作成（レポートは後日、評価コメントとともに返却する）</p> <p>第15回 アカデミック・スキルの実践（2） 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：栗田昌裕学長、國元文生群馬パーズ病院長</p>	<p>杉田</p> <p>杉田</p> <p>星野</p> <p>星野</p> <p>杉田</p> <p>杉田</p> <p>杉田</p> <p>杉田</p> <p>榎本</p> <p>杉田</p> <p>榎本</p> <p>榎本</p> <p>杉田</p> <p>杉田</p>
科目の目的	<p>大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。 1. 与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。。【知識・理解】</p>	
到達目標	<p>1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。（スチューデント・スキル、コミュニケーションスキル）</p>	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	<p>杉田担当課題（50%、後日評価コメントと共に返却する）、星野担当課題（20%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う）、榎本担当意見文・感想文（30%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書・参考書	なし。プリントを使用。	

オフィス・アワー	杉田：授業の前後、昼休み、4号館8階26研究室 星野：授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 榎本：月、水、木、金の昼休み、1号館3階305、1号館学生相談室、4号館学生相談室
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布するので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
中 徹			

授業形態	講義5コマ・演習10コマ		担当者
授業計画	<p>第1回 保健科学総論【講義】 保健科学の概要と成り立ちを学ぶ 学ぶ 1. 病と人間 2. 保健科学の基礎としてのヘルスリテラシーのあらまし</p> <p>第2回 保健科学総論【講義】 保健科学を其他的な事例に即して理解する 1. ヘルスリテラシーの活用 2. 文化とヘルスリテラシー</p> <p>第3回 グループワークへの導入～専門を学ぶということ【講義】 専門を学ぶことの実践的な意義を知った上で、グループワークの方法論を理解</p> <p>第4回 グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討1【演習】 理学療法士としての能力を習得するために今すべき（できる）ことの模索1</p> <p>第5回 グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討2【演習】 理学療法士として具体化した能力を習得するために今すべき（できる）ことの模索2</p> <p>第6回 グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討3【演習】 理学療法士として能力を習得するために今すべき（できる）ことの視覚的具体化1</p> <p>第7回 グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討4【演習】 理学療法士として能力を習得するために今すべき（できる）ことの視覚的具体化2</p> <p>第8回 グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの共有 グループワークの結果のプレゼンテーション</p> <p>第9回 理学療法士像の探求1：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第10回 理学療法士像の探求2：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第11回 理学療法士像の探求3：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第12回 理学療法士像の探求4：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第13回 理学療法士像の探求5：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第14回 理学療法士像の探求6：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する</p> <p>第15回 理学療法士像の探求のまとめ【講義】 集団討議で提案された内容を整理して理解する</p>	<p>木村あ</p> <p>木村あ</p> <p>中・岡崎</p> <p>中・岡崎</p> <p>中・岡崎</p> <p>中・岡崎</p> <p>中・岡崎</p> <p>中・岡崎</p> <p>中・岡崎・黒川・城下</p> <p>中・岡崎・目黒・橋口</p> <p>中・岡崎・浅田・鳥海</p> <p>中・岡崎・鈴木・北村</p> <p>中・岡崎・木村</p> <p>中・岡崎・高橋</p> <p>中・岡崎</p>	
科目の目的	グループワーク学習と集団ディスカッションを通じて、保健学の観点を持った上で、自らの理学療法士像を育み、明確専門基礎分野、専門分野の学習の学ぶ意義とを明確にすること。 本授業はディプロマポリシー4の「関心・意欲を高めること」を目的とした科目である。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 保健学の概要の理解の上に理学療法の職務内容と職域が説明できる。 理学療法士を目指す学生として必要な社会的な礼節およびコミュニケーションをもって行動できる。 自らの理学療法士像を説明することができる。 理学療法を学ぶことに興味を持ち、主体的・意欲的に学ぶ姿勢を示すことができる。 		
関連科目	全ての専門基礎科目、理学療法概論		
成績評価方法・基準	提出課題（40％）、発言や司会および記録などグループ討議への参加状況（30％）、発表点（30％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1-2講義は公衆衛生学を復習しておくこと（毎回45分程度） その他の回は講義と演習なので、毎回の復習や振り返り作業を行うこと（毎回30～45分程度） グループディスカッション時を中心にフィードバックを行う		
教科書・参考書	木村朗担当分 身体活動学入門 三共出版 必要に応じて資料を配布する。		
オフィス・アワー	毎週月曜日12:00～13:00（担当教員全員）		
国家試験出題基準	国家試験出題基準には該当しない		
履修条件・履修上の注意	他人の意見をよく聞き、自ら発信するトレーニングとしても位置づけている授業ですので、積極的に受講してください。		

講義科目名称：解剖学 I

授業コード：3P040

英文科目名称：Anatomy I

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 解剖学総論 授業計画の説明 解剖学の位置づけ；人体の構成（細胞、組織、器官、器官系、個体）；解剖学において方向と位置を表す言葉；身体部位と身体運動の名称	後藤遼佑
	第2回 骨学総論 骨の一般的構造（顕微鏡的構造から肉眼的構造まで）；骨の発生と成長；関節の種類と骨の連結様式	後藤遼佑
	第3回 体軸をつくる骨 椎骨の基本構造；頸椎、胸椎、仙椎、尾椎のかたちの違い；胸郭の構造	後藤遼佑
	第4回 体軸をつくる骨の構造 脊柱運動の名称；椎骨の連結様式と靭帯；頭部と頸椎の特殊な連結様式；胸椎と肋骨の連結様式と呼吸運動	後藤遼佑
	第5回 下肢骨のかたち 下肢帯（腸骨、恥骨、坐骨）のかたち；自由下肢骨（大腿骨、脛骨、腓骨、足部）のかたち	後藤遼佑
	第6回 下肢骨の連結 下肢骨の連結と靭帯；関節面のかたちからみた下肢関節の分類	後藤遼佑
	第7回 上肢骨のかたち 上肢帯（鎖骨、肩甲骨）のかたち；鎖骨、肩甲骨；自由上肢骨（上腕骨、尺骨、橈骨、手部）のかたち	後藤遼佑
	第8回 上肢骨の連結 上肢骨の連結と靭帯；関節面のかたちからみた上肢関節の分類；胸郭と上肢帯の連結	後藤遼佑
	第9回 筋学総論 筋の一般的構造（顕微鏡的構造から肉眼的構造まで）；筋の分類；筋骨格系のテコ機構	後藤遼佑
	第10回 体軸の骨格筋 胸壁および腹壁の筋とそれらの層構造；胸郭上口と骨盤下口を閉じる筋群；固有背筋とその他の背部筋	後藤遼佑
	第11回 下肢の骨格筋 股関節と膝関節に作用する筋の配置	後藤遼佑
	第12回 下肢の骨格筋 足部の外在筋と内在筋の配置	後藤遼佑
	第13回 上肢の骨格筋 肩関節および肘関節に作用する筋の配置	後藤遼佑
	第14回 上肢の骨格筋 手部の外在筋と内在筋の配置	後藤遼佑
	第15回 筋骨格系の総括 これまで学習した筋骨格系の内容を総括する。	後藤遼佑
科目の目的	ヒトの筋骨格系における肉眼解剖学的構造を習得する。また、筋骨格系の構造にもとづき、各関節で生じる運動を推論する思考力を養う。 【知識・理解】	
到達目標	ヒトの筋骨格系の基本的な構造を説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅱ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書に指定した「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。授業後には、配布したプリントに取り組むこと。授業の予習として1時間、授業後の復習として一時間程度の学習を勧める。また、解剖学Iでは骨スケッチ課題を与える。	

教科書・参考書	教科書1：「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか（医学書院） 教科書2「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂） 参考書：「イラスト解剖学 第9版」松村讓児（中外医学社）
オフィス・アワー	火曜日三限の講義終了後に質問を受け付ける。時間帯は14:30～15:00とする。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する（連絡先は後日告知する）。
国家試験出題基準	【理学療法士】 ≪専門基礎≫- I-1-A-a B-a, b, c, d C-a, b D-a, b H-d, e I-a, b J-a
履修条件・履修上の注意	Active Academyによるレジュメの配布期間中（講義の一週間前から講義当日まで）にファイルをダウンロードして授業に持参すること。媒体（紙か電子ファイル）は問わないが、紙媒体を勧める。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 神経系総論 神経の一般的構造（顕微鏡的構造から肉眼的構造まで）；中枢神経系と末梢神経系；体性神経系と自律神経系</p> <p>第2回 中枢神経系の構造 中枢神経系の構造（大脳、間脳、中脳、小脳、橋、延髄、脊髄）；脳室系の構造</p> <p>第3回 末梢神経系の構造 末梢神経系の全体像；末梢神経の神経成分と中枢神経系における神経核の位置</p> <p>第4回 頭部構造と脳神経 頭部の構造（頭蓋骨および表情筋など）；脳神経と神経核；脳神経の神経成分</p> <p>第5回 体軸部の末梢神経 脊髄神経の基本的な走行；体軸の骨格筋の分節的神経支配；皮節の分節性</p> <p>第6回 上下肢の末梢神経 上下肢の末梢神経の名称と経路；皮節と上下肢筋の支配分節；神経叢の構造</p> <p>第7回 特殊感覚の神経路：嗅覚、味覚、視覚 感覚受容器の構造；求心性神経路</p> <p>第8回 特殊感覚の神経路：聴覚、平衡覚 感覚受容器の構造；求心性神経路</p> <p>第9回 一般体性遠心性、求心性神経路、および自律神経系 錐体路と錐体外路；体性感覚受容器の構造；体性感覚の分類と求心性神経路；自律神経系</p> <p>第10回 呼吸循環器 心臓の構造；環状動静脈；肺の構造；体循環と小循環；</p> <p>第11回 呼吸循環器 体軸部動静脈の経路；上下肢動静脈の経路</p> <p>第12回 内臓器 口腔、食道、胃、十二指腸、空腸の構造；肝臓の構造と門脈系</p> <p>第13回 内臓器 膵臓と脾臓；内分泌系</p> <p>第14回 泌尿器 腎臓の構造（顕微鏡的構造から肉眼的構造まで）；外生殖器の構造</p> <p>第15回 総復習 解剖学IIを総括する。</p>	後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑 後藤遼佑
科目の目的	<p>脈管・内臓の肉眼解剖学的構造を習得する。 【知識・理解】</p>	
到達目標	脈管・内臓の基本的な構造と発生学について説明できる。また、神経系の構造にもとづき、器質的障害にともなう機能障害を推察できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書に指定した「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。授業前の予習に一時間、授業後の復習に一時間程度をかけてること。授業後の復習として配布したプリントに取り組むこと。	
教科書・参考書	教科書1：「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか（医学書院） 教科書2：「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂） 参考書：「イラスト解剖学 第9版」松村讓児（中外医学社）	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する（連絡先は後日告知する）。	
国家試験出題基準	<p>【理学療法士】 《専門基礎》- I-1 -A-b A-b E-a, b, c, d F-a, b, c, d G-a I-c 2-K-f, g L-a, b, c M-a P-a, b Q</p>	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによるレジュメの配布期間中（講義の一週間前から講義当日まで）にファイルダウンロードして授業に持参すること。媒体（紙か電子ファイル）は問わないが、紙媒体を勧める。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
浅田 春美	黒川望		

授業形態	小人数グループによる実技演習		担当者
授業計画	第1回	演習：触診の準備<解剖学の知識を復習> 骨標本（全身）を用いての演習<骨、骨部位の名称と特徴の確認.> 「骨・骨部位（主に筋の附着部・骨指標となる部位）の名称を指し示して言うことができる」 「頭蓋骨から足部まで左右を区別して骨を並べることができる」	浅田春美, 黒川望
	第2回	演習：触診講義の学習の仕方/触診手技の練習 体表面から触診する場合の骨、関節、筋、靭帯の触れ方（ポイント）の練習 ・第1回講義内容（骨・骨部位の名称）の小テスト ⇒第3回講義にて返却	浅田春美, 黒川望
	第3回	演習：頭頸部・上肢<肩甲帯・肩・上腕> 主に骨・関節の触診	黒川望, 浅田春美
	第4回	演習：上肢<肩甲帯・肩・上腕>・体幹 主に軟部組織（筋・靭帯・動脈の拍動）の触診	黒川望, 浅田春美
	第5回	演習：上肢<前腕・肘・上腕> 主に骨・関節・軟部組織の触診	黒川望, 浅田春美
	第6回	演習：上肢<前腕・手関節・手> 主に骨・関節・軟部組織の触診	黒川望, 浅田春美
	第7回	演習：上肢<前腕・手関節・手> 主に骨・関節・軟部組織の触診	黒川望, 浅田春美
	第8回	演習：上肢実技の確認 前半（上肢部分）の骨・関節・筋について触診の実技確認を実施<3分/1人程度>	浅田春美, 黒川望
	第9回	演習：下肢<骨盤・股関節> 主に骨・関節・軟部組織の触診	浅田春美, 黒川望
	第10回	演習：下肢<骨盤・股関節> 主に骨・関節・軟部組織の触診	浅田春美, 黒川望
	第11回	演習：下肢<膝関節・下腿> 主に骨・関節・軟部組織の触診	浅田春美, 黒川望
	第12回	演習：下肢<膝関節・下腿> 主に骨・関節・軟部組織の触診	浅田春美, 黒川望
	第13回	演習：下肢<下腿・足関節・足部> 主に骨・関節・軟部組織の触診	浅田春美, 黒川望
	第14回	演習：下肢<下腿・足関節・足部> 主に骨・関節・軟部組織の触診	浅田春美, 黒川望
	第15回	実技試験（全範囲） 全範囲（上肢・下肢）の骨・関節・靭帯・動脈の拍動について触診の実技確認 実技確認終了後、個別でフィードバックを実施。60%未満の場合、補習を行った後、再度、実技確認を行う。	浅田春美, 黒川望
科目の目的	1. 解剖学の知識を基に手または指を用いて、皮下にある組織の形・大きさ・硬さ・位置・固有の運動性などを識別する技術を習得する。 2. 運動学Ⅰ、理学療法評価学と並行して授業が進むため、運動器の構造と機能の関連をより深く理解し、検査・測定技術の基礎固めを目的とする。 【技能・表現】		
到達目標	1. 骨の部位、関節裂隙、靭帯、筋、腱、動脈を触知により区別できる（対学生）。 2. 体表から触れることができるそれらの部位を解剖学アトラスで参照できる。 3. これらの名称（筋については、起始・停止・作用）を述べることができる。 4. 実技では、最も触知しやすい肢位や運動を相手に分かりやすい言葉で指示できる。		
関連科目	解剖学Ⅰ，運動学Ⅰ，運動学Ⅱ，専門科目全般		
成績評価方法・基準	筆記定期試験（50%）・実技授業内試験（50%） それぞれ60%以上の正解率		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・解剖学で学んだ骨や筋の名称を復習しておくこと ・筋の「起始・停止・作用」は、教科書「運動療法のための機能解剖学的触診技術」において予習・復習しておく ・配布資料の実施予定日の内容を確認し、該当する教科書のページを予習・復習とも読んでおく ・講義終了後、学生同士で実技練習を行い、不明な点を積極的に教員に質問する（直後または次回講義開始時）		

	<予習・復習：各1時間程度要する>
教科書・参考書	<p>【教科書】1. 林 典雄著：「運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢」，メディカルビュー，2017</p> <p>2. 林 典雄著：「運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢」，メディカルビュー，2017</p> <p>3. 相磯貞和 訳：「ネッター解剖学アトラス」第6版，南江堂，2016</p> <p>【参考書】1. Stanley Hoppenfeld著・野島元雄監訳：図解 四肢と脊椎の診かた，医歯薬出版，1984</p> <p>2. 藤原理著：筋と骨格の触診術の基本，マイナビ，2013</p> <p>3. 竹井仁著：触診機能解剖カラーアトラス上下，文光堂，2008.</p>
オフィス・アワー	水曜日： 12：10～13：00， 17：50～18：30
国家試験出題基準	《専門基礎》－ I － 1 － B－d、C－b、D－a、H－a、b
履修条件・履修上の注意	<p>実技演習を行うため、準備をしていない場合、履修できないことがある</p> <p><指輪、時計など不必要なものを外し、手や手指のケアを心がける（爪・傷など）></p> <p><直接、皮膚に触れるため可能な限り脱衣しやすく、動きやすい服装を準備する></p>

講義科目名称：生理学 I

授業コード：3P044

英文科目名称：Physiology I

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官 第2・3回 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達 第4・5回 筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮 第6-8回 神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節 第9-12回 感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム 第13-15回 睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー 01「知識・理解」に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学 I・II、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.7+期末試験の点数×0.3 で最終的な評価を決定する 公欠以外の欠席は、原則最終成績から1回につき10点減点する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00	
国家試験出題基準	≪人体の構造と機能≫-II-1-A-a, b, c ≪人体の構造と機能≫-II-1-B-a, b, c ≪人体の構造と機能≫-II-2-A-a ≪人体の構造と機能≫-II-2-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-3-C-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-4-A-a ≪人体の構造と機能≫-II-4-B-a, b, c, d, e, f, h, i ≪人体の構造と機能≫-II-4-C-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-5-A-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-5-B-a, b, c, d, f ≪人体の構造と機能≫-II-5-C-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-5-D-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-5-E-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-5-F-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-5-G-b	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	

講義科目名称：生理学Ⅱ

授業コード：3P045

英文科目名称：Physiology II

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回 内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能 第3-5回 循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 第6・7回 呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節 第8・9回 尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 第10・11回 消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節 第12・13回 血液の生理学 血液の組成とその機能 第14・15回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー01「知識・理解」に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.7+期末試験の点数×0.3 で最終的な評価を決定する 公欠以外の欠席は、原則最終成績から1回につき10点減点する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00	
国家試験出題基準	≪人体の構造と機能≫-II-6-A-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-6-B-a, b, c, d, g ≪人体の構造と機能≫-II-7-A-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-7-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-7-C-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-8-A-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-8-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-9-A-c, d ≪人体の構造と機能≫-II-9-B-a, b, c, d, e ≪人体の構造と機能≫-II-10-A-a, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-10-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-10-C-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-11-A-d, e ≪人体の構造と機能≫-II-11-B-a, b, e, f, g, h ≪人体の構造と機能≫-II-13-A-a, b, c ≪人体の構造と機能≫-II-13-B-a, b, c, d ≪人体の構造と機能≫-II-13-C-b, d, e ≪人体の構造と機能≫-II-14-A-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-14-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-15-A-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-15-B-a, b ≪人体の構造と機能≫-II-15-C-a, b, c, d, e, f, g, h, i, j ≪人体の構造と機能≫-II-16-A-d ≪人体の構造と機能≫-II-16-B-a, b	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	

講義科目名称：生化学

授業コード：3P048

英文科目名称：Biochemistry

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 生化学を学ぶための基礎 生化学で基礎となる生体構成成分，細胞の基本構造と細胞小器官の役割	木村 鮎子
	第2回 糖質 糖質の基礎（構造，異性体），糖質の分類（単糖類，二糖類，多糖類，複合糖質）	木村 鮎子
	第3回 脂質 脂質の基礎（構造など），脂質の分類（単純脂質，複合脂質，誘導脂質，その他の脂質）	木村 鮎子
	第4回 タンパク質とアミノ酸 タンパク質とアミノ酸の基礎（構造，種類，性質），タンパク質の分類と分析法	木村 鮎子
	第5回 酵素 酵素の分類と性質，酵素活性の調節，疾患の指標となる酵素	木村 鮎子
	第6回 核酸 核酸の基礎（構造，種類），遺伝子の複製・発現と変異	木村 鮎子
	第7回 ビタミン ビタミンの分類（脂溶性ビタミン，水溶性ビタミン），ビタミンの機能と欠乏症	木村 鮎子
	第8回 ホルモン ホルモンの分類と機能，各種ホルモンによる生体調節，ホルモンと疾患との関係	木村 鮎子
	第9回 ミネラル ミネラルの生理的意義，多量ミネラル（Na，K，Cl等），微量ミネラル（Fe，Zn等）	木村 鮎子
	第10回 糖質代謝 糖の消化と吸収，解糖系とTCA回路，糖新生，グリコーゲン合成と分解，糖代謝異常	木村 鮎子
	第11回 脂質代謝 脂肪酸の生合成と β 酸化，ケトン体の生成，各脂肪酸の代謝，コレステロールの合成・輸送・蓄積，脂質代謝異常	木村 鮎子
	第12回 タンパク質の分解とアミノ酸代謝 タンパク質の分解とアミノ酸プール，アミノ酸代謝（エネルギー源，尿素生成），アミノ酸代謝異常	木村 鮎子
	第13回 核酸代謝 核酸の生合成と分解，尿酸の生成，核酸代謝異常	木村 鮎子
	第14回 生体エネルギー 高エネルギーリン酸化合物，呼吸鎖と酸化的リン酸化	木村 鮎子
	第15回 中間代謝の概要（まとめ） 糖質代謝，脂質代謝，アミノ酸代謝の相互関係と代謝のまとめ	木村 鮎子
科目の目的	身体の中で起こる種々の生理現象を的確にとらえることができる化学的な視点を養うために，必要な生化学の基礎知識を身に着ける。（知識・理解）	
到達目標	生命現象の発露に関わる糖質・脂質・タンパク質（アミノ酸）・核酸などの化合物とその代謝機構，およびその働きを助ける酵素，ホルモン，ビタミン，ミネラルの役割を理解するとともに，これらの分子の変化と病態との関連を理解する。	
関連科目	化学基礎，生物学基礎，生理学，薬理学	
成績評価方法・基準	定期試験（90%），ミニテスト（10%）により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	生物学および有機化学の基礎知識を必要とする。講義内容が理解できるよう，事前に教科書を30分程度読んでおく。	
教科書・参考書	教科書： 藪田 勝 編；栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第3版（羊土社） 参考書： 中元 伊知郎 著；生化学ワークノート（MCメディカ出版） 藪田 勝 編；栄養科学イラストレイテッド演習版 生化学ノート 改定第3版（羊土社） 加藤 秀夫，中坊 幸弘 編集；栄養科学シリーズ NEXT 生化学（講談社）	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受ける。個別の相談は，事前連絡(ay-kimura@paz.ac.jp)によって随時対応する。	
国家試験出題基準	人体の構造と機能及び心身の発達-I-2-N-a, 人体の構造と機能及び心身の発達-I-2-N-b, 人体の構造と機能及び心身の発達-I-2-J-a, 人体の構造と機能及び心身の発達-I-2-K-d, 人体の構造と機能及び心身の発達-I-2-K-e, 人体の構造と機能及び心身の発達-I-2-K-f, 人体の構造と機能及び心身の発達-I-2-K-g	

履修条件・履修上の注意	健康食品管理士および遺伝子分析科学認定士（初級）の資格取得要件科目の一つである。
-------------	--

講義科目名称：運動学 I

授業コード：3P049

英文科目名称：Kinesiology I

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
高橋 正明			

授業形態	講義	担当者	
授業計画	第1回	コースオリエンテーション 運動の原則 (運動学とは? 関節運動 機能-機能的見方)	高橋正明
	第2回	運動の原則 2 (生体力学 てこ バランス 支持基底面と重心)	高橋正明
	第3回	運動の原則 3 (骨・関節・筋の構造と役割)	高橋正明
	第4回	足部・足関節の機能解剖1 (足関節の形態と運動)	高橋正明
	第5回	足部・足関節の機能解剖 2 (足部関節の形態と運動)	高橋正明
	第6回	機能解剖足部・足関節 3 (足部全体を総合した運動のメカニズム アーチ構造とその役割)	高橋正明
	第7回	膝関節の機能解剖1 (骨・関節の構造と機能)	高橋正明
	第8回	膝関節の機能解剖 2 (筋の力学的役割)	高橋正明
	第9回	骨盤・股関節の機能解剖1 (形態と機能) 足部・足関節、膝関節の小テスト	高橋正明
	第10回	骨盤・股関節の機能解剖 2 (筋の力学的役割)	高橋正明
	第11回	体幹の機能解剖1 (脊柱の形態と機能、体幹の運動と筋活動)	高橋正明
	第12回	体幹の機能解剖 2 (胸郭の形態と運動機能)	高橋正明
	第13回	肩・肩甲帯の機能解剖1 (5関節による構造と機能) 股関節、体幹の小テスト	高橋正明
	第14回	肩・肩甲帯の機能解剖2 (筋の役割)	高橋正明
	第15回	人体のバイオメカニズム 肩・肩甲帯の小テスト	高橋正明
科目の目的	人の身体運動を機能-構造の視点から分析するのに必要となる基本的な知識や概念を学び、自分自身および友人の関節運動を機能-構造的見方で説明することができる。【知識・理解】		
到達目標	1. 関節運動の原則とバランス保持について説明できる。 2. 頸部・体幹・肢節の基本的運動を司る個々の関節 (肘、手を除く) を機能-構造的見方で説明できる。 3. 関節の基本的機能である可動性と拘束性について関節の構造物および筋の活動により説明できる。		
関連科目	解剖学 I・II 生理学 I・II 運動学 II 運動学実習 運動生理学 表面解剖学と触診法 臨床動作分析学 運動療法総論 運動器系理学療法評価・治療学 神経系理学療法評価・治療学 日常生活活動学 他		
成績評価方法・基準	各関節の機能解剖学的知識を確認するための小テストを授業期間に3回行う (60%)。関節運動の原則についての試験を定期試験期間に行う (40%)。総合して60%以上を合格とする		

	各関節の機能解剖学的知識を確認するために小テスト(クイズ)を3回行う(60%)，運動の基本的原則について試験を行う(40%)．総合得点60点以上を合格とする．
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	運動学は応用科学であるため、四肢体幹の解剖学の基礎知識を前提に授業を進める．該当する部分を解剖学の教科書で確認しておくこと．30分～45分の準備学習が必要．
教科書・参考書	教科書 「標準理学療法学・作業療法学 運動学」高橋正明編 (医学書院) 「基礎運動学 第6版補訂」中村隆一，他著(医歯薬出版) 参考書 「関節の生理学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ」Kapandjid LA 著おいお(医歯薬出版) 「筋骨格系のキネシオロジー」D.A. Neumann著(医歯薬出版) 「Kinesiology」Oatis CA (Lippincott Williams & Wilkins)
オフィス・アワー	火曜日10:40～13:00、 金曜日10:40～13:00
国家試験出題基準	《専門基礎》- I -3-A-abcdef, B-abcde
履修条件・履修上の注意	解剖学用語の知識を前提に授業を進めるため、それらを教科書で確認しておくこと。

講義科目名称：栄養学(含食品学)

授業コード：3P053

英文科目名称：Nutrition (inc. Food Science)

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
後藤 香織			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 栄養学の目的 1 食と私たち 食育を忘れないで 食育の必要性	後藤 香織
	第2回 主食と主菜と副菜 どのように選択するのか 自分たちの今の状況を把握せよ	後藤 香織
	第3回 献立の立て方 糖質の種類 献立とはなにか どうして重要なのか 糖質の構造を覚える	後藤 香織
	第4回 糖質の消化と吸収 糖質は最も重要な栄養素であり いかにか体に賢く摂取しているのか知る	後藤 香織
	第5回 糖質の代謝 これが運動のエネルギー源である だから人間は進化できた	後藤 香織
	第6回 エネルギー量の算出 それぞれの学生諸君の使ったエネルギーはどれだけなのか 正しいのか 間違っているのか	後藤 香織
	第7回 脂質の化学 食べ物の脂と体の脂 悪玉は本当に悪玉なのか	後藤 香織
	第8回 脂質の代謝 脂質はどうやって体で使われるのか スポーツではどうしたら燃焼しているのか	後藤 香織
	第9回 蛋白質の化学 筋肉をつけるにはどうしたらいいのか	後藤 香織
	第10回 蛋白質の消化と吸収と代謝 どんな蛋白質が質が高い蛋白質なのか	後藤 香織
	第11回 ビタミンとはなにか どのように摂取する 森鷗外の大失態 ビタミン戦争 ビタミンと病気	後藤 香織
	第12回 ミネラルとは どのような病気になるのか カルシウムと鉄 賢い摂取方法は	後藤 香織
	第13回 どんな献立を作って食べればいいのか 献立の立て方 日本料理と西洋料理の献立 食品成分の計算	後藤 香織
	第14回 献立とスポーツ選手と病気 13回の続き 食品の選び方 スポーツと献立 嚥下障害 病気の時はどうしたらいいのか	後藤 香織
	第15回 まとめ 1回から14回までの内容の確認と復習	後藤 香織
科目の目的	捕食という行動は全てを中心であることを深く理解し、人が食べるという行為をどれだけ重要に考えなくてはならないかを知り、人体が必要とする栄養素を学ぶ。さらに自身の摂取エネルギーと消費エネルギーから必要な栄養量、栄養素、運動、休養を求め、よりよい健康状態を保つことを身に漬ける方法を学ぶ。国の施策である「食育」が大学生には危機的な状況であることを知り改善する為に、栄養・休養・運動の三要素を含めて解説する。本学のディプロマポリシーに沿い、保健医療専門職としての栄養学の基礎的知識と、社会人としての食に関する教養を身につけ、食に関する多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解し、保健医療分野と栄養学との関係を見出し、科学的洞察による的確な判断ができ、先進・高度化する栄養分野の基本的知識と技術を提供することや、栄養補給に関わるコミュニケーション能力を身につけ、生涯にわたって栄養に関する知識を身に付けて、自身が健康に過ごすことを身に付け、それを社会に貢献させる。【知識・理解】	
到達目標	基礎医学（解剖学、生理学、生化学）に関連した栄養学の基礎を学ぶ。また日々の食品摂取の判断ができるようにする。 栄養素と消化、吸収、代謝に関わる知識の習得、一日の消費カロリーの計算、一日の摂取エネルギーの計算、運動時の代謝、和食の伝統文化、美味しく感じる為の脳科学的方法を身につけます。 ・栄養学の基礎的知識と教養を身につけている。 ・栄養に関わる多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 ・栄養分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。 ・栄養学分野の基本的技術を提供することができる。 ・NSTを実践するための、コミュニケーション能力を身につけている。 ・生涯にわたって栄養分野を探索し、その発展に貢献する意欲を持っている。 ・人と社会に深い関心を持って、地域の栄養保健医療に寄与できる。 ・人権を尊重し、高い倫理観を持って社会に貢献する姿勢を身につけている。	
関連科目	①解剖学Ⅰ・Ⅱ ②生化学 ③生理学Ⅰ・Ⅱ ④病理学	

成績評価方法・基準	定期試験85%（定期試験を85点満点とする） ミニテスト15%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校の生物学および、解剖学、生理学とを見直しておく。 成分表の後半のページを読んでおく。20分予習する。
教科書・参考書	教科書：新選 食品成分表（実教出版） 参考書：新体系看護学 人体の構造と機能2 栄養生化学（メジカルフレンド社） 看護栄養学（医歯薬出版） リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第2版 栢下淳・若林秀隆 編著（医歯薬出版）
オフィス・アワー	授業の前後
国家試験出題基準	<理学療法士> 専門基礎分野 1-F-a 2-K-a～g 2-N a, b, c 3-G-1 5-f 13-h
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称：医療概論

授業コード：3P054

英文科目名称：Survey of Medical Science

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
宗宮 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 医療のシステムと実際 (1) 「医療関連職種」	宗宮 真
	第2回 医療のシステムと実際 (2) 「保健医療の提供体制・医療保険制度」	宗宮 真
	第3回 医療のシステムと実際 (3) 「医療・保健・福祉の現状」	宗宮 真
	第4回 医療のシステムと実際 (4) 「診療の流れ (患者中心の医療)」	宗宮 真
	第5回 医療のシステムと実際 (5) 「診療の流れ (診断、診療記録、チーム医療)」	宗宮 真
	第6回 医療のシステムと実際 (6) 「医療安全」	宗宮 真
	第7回 健康と疾病 (1) 「健康・疾病予防」	宗宮 真
	第8回 健康と疾病 (2)、既出事項の確認 「加齢・疾病・障害」、既出事項の確認	宗宮 真
	第9回 医学・医療の歩み 「医学・医療の歩み」	宗宮 真
	第10回 医療における課題 (1) 「医療機器・技術の発達」「医療従事者と生命倫理」	宗宮 真
	第11回 医療における課題 (2) 「臓器移植医療」	宗宮 真
	第12回 医療における課題 (3) 「遺伝子診断・出生前診断」	宗宮 真
	第13回 医療における課題 (4) 「救急医療・災害医療」	宗宮 真
	第14回 医療における課題 (5) 「ターミナルケア1 (総論：思想、ケアの実際)」	宗宮 真
	第15回 医療における課題 (6)、既出事項の確認 「ターミナルケア2 (各論：学生の意見発表)」、既出事項の確認	宗宮 真
科目の目的	医学・医療分野に関する各講義に先立ち、医学・医療の問題を幅広く概観し、専門分野の学習につなげる。【知識・理解】	
到達目標	医療のシステム、医療の実際、健康と疾病、医学・医療の歩み、医療が抱える課題を幅広く理解し、考察することを目標とする。	
関連科目	内科学、臨床神経学、整形外科学、臨床医学特殊講義、臨床検査・画像診断学、精神医学、小児科学、リハビリテーション医学、老年医学、救急・免疫・感染症学、公衆衛生学、生命倫理など	
成績評価方法・基準	講義内で行う試験 (筆記試験を2回行う。時期や範囲等の詳細については教員が講義内で説明する。70%)、レポート課題提出 (20%)、授業中の質問や確認問題への回答 (10%)。試験・課題等については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。概ね1.5時間の授業外学習の時間を確保すること。	
教科書・参考書	教科書： 使用しない 参考書：「学生のための医療概論 (第3版増補版)」千代豪昭、黒田研二 (医学書院) 参考書：「ケースブック医療倫理」赤林朗、大林雅之ほか (医学書院)	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み (12時10分～50分、場所：6階研究室)。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-1-A-a, b, c 《専門基礎》-II-1-B-a, b	
履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する場合があるため、前回の配布資料を持参すること。	

講義科目名称：病理学

授業コード：3P055

英文科目名称：Pathology

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
岡山 香里			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病理学序論・組織細胞障害と修復機構1 病理学とは、変性	岡山香里
	第2回 組織細胞障害と修復機構2 アポトーシス、壊死	岡山香里
	第3回 組織細胞障害と修復機構3 再生、化生、瘢痕治癒	岡山香里
	第4回 物質代謝異常1 糖質代謝異常	岡山香里
	第5回 物質代謝異常2 脂質代謝異常	岡山香里
	第6回 物質代謝異常3 核酸代謝異常、生体内色素代謝異常、無機物代謝異常	岡山香里
	第7回 循環障害 1 循環血液量の異常	岡山香里
	第8回 循環障害2 閉塞性の循環障害	岡山香里
	第9回 循環障害3 傍側循環、全身性の循環障害	岡山香里
	第10回 炎症1 炎症とは、炎症の分類、炎症の経過	岡山香里
	第11回 炎症2 炎症の各型、自己免疫性疾患	岡山香里
	第12回 先天異常 遺伝子・染色体異常と発生発達異常	岡山香里
	第13回 腫瘍1 定義、分類、良性腫瘍と悪性腫瘍	岡山香里
	第14回 腫瘍2 腫瘍の発生、発育、分化度	岡山香里
	第15回 腫瘍3 腫瘍の発生要因、腫瘍の種類	岡山香里
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【知識・理解】	
到達目標	1. 疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2. 疾病の検査事項を説明できる。 3. 疾病の病理所見を説明できる。	
関連科目	解剖学	
成績評価方法・基準	定期試験100%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。	
教科書・参考書	教科書：講師が配布する資料（授業ごとに配布する） 参考書：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 小林正伸著 南山堂	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡(okayama@paz.ac.jp)によって随時対応する。	
国家試験出題基準	《疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進》-II-2-A-a 《疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進》-II-2-A-b	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：公衆衛生学

授業コード：3P057

英文科目名称：Public Health

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
木村博一	木村朗	高橋篤	

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 公衆衛生学総論 公衆衛生学の概要について講義する。</p> <p>第2回 感染症疫学総論 感染症疫学について概説する。</p> <p>第3回 感染症各論 結核、エイズならびに新興再興感染症について概説する。</p> <p>第4回 疫学総論（集団の健康と疾病の概念） 疫学概要、記述疫学、分析疫学ならびにコホート研究について概説する。</p> <p>第5回 疫学各論（疫学の方法） 系統誤差・偶発誤差、因果関係論ならびに保健統計について概説する。</p> <p>第6回 生活習慣病総論（ライフスタイルと健康） NCDの概要、動脈硬化性疾患、予防ならびに健康教育について概説する。</p> <p>第7回 親子保健（発達・成長と健康） 親子保健（発達・成長と健康）の概要と課題について概説する。</p> <p>第8回 労働衛生・産業保健の概要 社会・環境と健康の概要と課題について概説する。</p> <p>第9回 成人保健概説（木村博一） 精神保健や自殺対策について概説する</p> <p>第10回 生活環境・環境と健康・地球温暖化（木村博一） 生活環境・環境と健康・地球温暖化などの諸問題について概説する。</p> <p>第11回 健康危機管理(1)（木村博一） 食品衛生・食の安全について概説する。</p> <p>第12回 健康危機管理(2)（木村博一） 感染症発生時や災害時の対応について概説する。</p> <p>第13回 保健医療行政概説（木村博一） 地域包括ケアシステムを含む保健医療行政について概説する。</p> <p>第14回 院内感染対策概説（木村博一） 院内感染の現状と対策について概説する。</p> <p>第15回 がんの統計と疫学（木村博一） がん対策・がん登録について概説する。</p>	<p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>高橋 篤</p> <p>高橋 篤</p> <p>高橋 篤</p> <p>高橋 篤</p> <p>高橋 篤</p> <p>高橋 篤</p> <p>高橋 篤</p> <p>高橋 篤</p> <p>高橋 篤</p>
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。各種疾患対策、環境対策と統計、疫学、健康教育、試験検査が織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。【知識・理解】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。 3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。 	
関連科目	生命倫理、環境学、社会学、情報処理、感染と免疫、理学療法概論、地域理学療法学	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり2時間	
教科書・参考書	<p>【教科書】 「社会・環境と健康 公衆衛生学 2020年版」柳川 洋、尾島 俊之 編集（医歯薬出版）</p> <p>【参考書】 特になし</p>	
オフィス・アワー	講義の前後（木村博一・木村朗・高橋篤）	
国家試験出題基準	<p>専門基礎Ⅱ-1 医学概論 a. 健康の定義 b. 疾病の定義と分類</p> <p>専門基礎Ⅲ-1-A-a. f. g. , Ⅲ-1-B-a. b. c. d. e. f. g. h. i. j Ⅲ-1-C-a. b. c. Ⅲ-1-D-a. b. c</p> <p>専門Ⅰ-1-F-a. b</p> <p>専門Ⅳ-1. 地域理学療法学</p>	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：リハビリテーション概論

授業コード：3P072

英文科目名称：Introduction to Rehabilitation Science

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
村田 和香	宮寺 寛子		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 リハビリテーションとは（講義オリエンテーション含）定義、リハビリテーションの基礎と応用の関連性 第2回 リハビリテーションの概念・理念 リハビリテーションの定義、理念、歴史 第3回 障害とは（1） 病気とは、障害とは 第4回 障害とは（2） 国際生活機能分類（ICF） 第5回 発達の視点 発達とは、ライフサイクル、ノーマライゼーション 第6回 リハビリテーションと心理 心理的機能、心理的適応の過程 第7回 リハビリテーションの諸段階 発症から社会生活へ 第8回 リハビリテーションの諸領域 障害者支援、障害児教育、職業リハビリテーション 第9回 リハビリテーションの過程 評価とは、情報収集の方法、評価の種類 第10回 チームアプローチ チームアプローチ、チームの構造 第11回 リハビリテーションの手段 理学療法、作業療法、言語聴覚療法 第12回 日常生活活動（ADL）と生活の質（QOL） ADL/QOLの概念と評価 第13回 地域リハビリテーション 地域リハビリテーション、高齢者対策 第14回 リハビリテーションを支える社会保障制度 社会保障とは、保健・医療制度、社会福祉、介護保険制度 第15回 ICFを理解する 大学生活を快適にするために、大学周辺の環境を考える	村田 村田 村田 村田 村田、宮寺 宮寺、村田 村田 宮寺、村田 村田 村田 村田 村田 村田 村田 村田 宮寺、村田
科目の目的	リハビリテーションにおける医学的、教育的、職業的、社会的リハビリテーション領域の目的、対象、方法を通して、リハビリテーションの中での理学療法士の位置づけや役割を理解する。【知識・理解】	
到達目標	①リハビリテーションの定義について、説明できる。 ②国際生活機能分類（ICF）について、具体的例を示し説明できる。 ③リハビリテーションで果たす理学療法の役割を説明できる。	
関連科目	理学療法概論、リハビリテーション医学	
成績評価方法・基準	試験100%（レポートを課す場合もある）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1. 障害や福祉に関する用語を調べ、学習する。 2. できれば障害福祉施設でのボランティア活動をする。 1コマあたりの準備及び復習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：使用しない（プリント教材を資料する） 参考書1：「入門リハビリテーション概論」中村隆一（医歯薬出版）	
オフィス・アワー	村田和香、宮寺寛子：授業日の17時まで	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫ III-2-A-a [~] e, B-a. b, C-a [~] d, D-a [~] d, E-a [~] e	
履修条件・履修上の注意	特になし	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
榎本 光邦			

授業形態	講義を中心に、随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	臨床心理学とは何か 臨床心理学とは、心の不健康な人々を健康へと導くために、心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な一分野である。本講義では、臨床心理学の歴史や構造について学ぶ。	榎本光邦
	第2回	無意識の心理学（1） 精神分析とは、オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり、理論であり、精神疾患や不適応の治療法である。本講義では、心理療法としての精神分析を中心に、その基本概念について学習する。 key words：意識、前意識、無意識、エス（イド）、自我、超自我、エディプス・コンプレックス	榎本光邦
	第3回	無意識の心理学（2） 分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり、一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが、その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では、フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。 key words：個人的無意識、普遍的無意識、元型、症状の持つ意味、夢分析	榎本光邦
	第4回	クライアント中心療法 カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき、人間の成長力、主体性を重視し、心理療法を「クライアント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり、その理論の変遷について理解する。 key words：クライアント中心療法、パーソン・センタード、静かなる革命、受容、共感、自己一致、建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件	榎本光邦
	第5回	臨床心理アセスメント 臨床心理アセスメントは、対象となる事例の心理的側面に関する情報（データ）を収集し、その情報を統合し、事例の心理的問題についての総合的な査定を行う作業である。臨床心理アセスメントが精神医学的診断と同一のものとして混同されることがあるが、本質的には臨床心理アセスメントは精神医学的診断とは異なる特徴を持っている。本講義では、臨床心理アセスメントの技法について学び、精神医学的診断との違いについて理解を深める。 key words：面接法、観察法、検査法	榎本光邦
	第6回	障がいの理解とスポーツ（初級障がい者スポーツ指導員基準カリキュラム（1）） 初級障がい者スポーツ指導員とは、地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者である。本講義ではその基準カリキュラムの一部である「知的障害」について学び、理解を深める。 key words：初級障がい者スポーツ指導員、知的障害	榎本光邦
	第7回	障がいの理解とスポーツ（初級障がい者スポーツ指導員基準カリキュラム（2）） 前回に続き、初級障がい者スポーツ指導員の基準カリキュラムの一部である「知的障害」と、「精神障害」について学び、理解を深める。 key words：初級障がい者スポーツ指導員、知的障害、精神障害	榎本光邦
	第8回	こころの問題を理解する（1） 「不安症／不安障害（神経症）」 不安症／不安障害（神経症）は主に心理的原因によって生じる心身の機能障害の総称であり、精神病とは異なる。本講義では不安症の種類や支援の方法について学び、理解を深める。 key words：分離不安症、選択制緘黙、限局性恐怖症、社交不安症、パニック症、広場恐怖症、全般不安症	榎本光邦

	<p>第9回 こころの問題を理解する（2） 「身体症状症と解離性同一症／解離性同一性障害」 神経症（ノイローゼ）の一類型として扱われていた「ヒステリー」は、DSM-III以降、ヒステリー概念が排除されたために、「転換ヒステリー」が「身体表現性障害」に、「解離性ヒステリー」は「解離性障害」として改められた。更に、DSM-5では「身体表現性障害」は「身体症状症」に、「解離性障害」は「解離症」に改められた。本講義では両社の下位分類や支援の方法について学び、理解を深める。 key words：身体症状症、転換性障害、病気不安症、解離性健忘、解離性同一症、離人感・現実感消失症</p> <p>第10回 こころの問題を理解する（3） 「摂食障害」 摂食障害は、極端な食事制限や大量の食糧摂取と排出行為など、摂食の問題が含まれる精神疾患であり、1980年代にDSMに登場して以降、先進国を中心に増加している。その背景として、やせを礼賛し体重増加を恐れる文化の影響や母子関係のつまりぎ等が考えられる。本講義では摂食障害の種類と支援の方法について学び、理解を深める。 key words：神経性やせ症／神経性無職欲症、神経性過食症／神経性大食症</p> <p>第11回 こころの問題を理解する（4） 「性障害・性別違和」 性に関する問題は周縁的なテーマであると考えられがちで、教科書や講義で取り上げられることはあまりない。そのため、訓練を受けた専門家でも、性の問題に関する知識を十分に持っていない場合がしばしばある。しかし、その一方で性とは、人間のアイデンティティの根幹にあってQOLに重大な影響を及ぼす事柄であり、臨床心理学でも大事なテーマになる。本講義ではDSM-5に記載されている3つの障害について理解を深め、その支援の方法について検討を行う。 key words：性機能不全、パラフィリア（性嗜好異常）、性別違和</p> <p>第12回 こころの問題を理解する（5） 「パーソナリティ障害」 パーソナリティ障害とは、思考・感情・行動などのパターンが平均から著しく逸脱し、社会生活や職業生活に支障をきたしている状態を指し、正常な状態とは言えないが病気であるとも言えない状態である。本講義ではパーソナリティ障害の分類と支援の方法について学び、理解を深める。 key words：猜疑性／妄想性パーソナリティ障害、シゾイド／スキゾイドパーソナリティ障害、統合失調型パーソナリティ障害、境界性パーソナリティ障害、演技性パーソナリティ障害、自己愛性パーソナリティ障害、反社会性パーソナリティ障害、回避性パーソナリティ障害、依存性パーソナリティ障害、強迫性パーソナリティ障害</p> <p>第13回 こころの問題を理解する（6） 「気分障害」 DSM-IV-TRでは、気分障害とは感情が正常に機能しなくなった状態を指す。人は誰でも気分の浮き沈みを経験するが、気分障害においては、その浮き沈みの程度や期間が著しく、睡眠障害などの身体症状も現れる。本講義では気分障害の種類とその支援方法について学び、理解を深める。 key words：双極Ⅰ型障害、双極Ⅱ型障害、うつ病／大うつ病性障害</p> <p>第14回 こころの問題を理解する（7） 「統合失調症」 統合失調症は、幻覚や妄想という症状が特徴的な精神疾患である。それに伴って、人々と交流しながら家庭や社会で生活を営む機能が障害を受け（生活の障害）、「感覚・思考・行動が病気のために歪んでいる」ことを自分で振り返って考えることが難しくなりやすい（病識の障害）という特徴を併せもっている。本講義では統合失調症の類型と支援の方法について学び、理解を深める。 key words：緊張型、解体（破瓜）型、妄想型</p> <p>第15回 生涯発達心理学 生涯発達心理学とは、誕生から死にいたるまでの間の生涯に渡る様々な変容過程を研究対象とし、そこに偏在する法則性を見出そうとする科学である。本講義では、エリクソンが区分した8つの発達段階と、それぞれの段階に固有の発達課題について学び、人間の生涯に渡る発達について理解を深める。 key words：生涯発達心理学、エリクソン、発達段階、発達課題</p>	<p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p> <p>榎本光邦</p>
<p>科目の目的</p>	<p>臨床心理学とは、心の不健康な人々を健康へと導くために、心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な一分野である。本講義では、臨床心理学の基礎について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する。</p> <p>ディプロマポリシー：【知識・理解】</p>	
<p>到達目標</p>	<p>1. 臨床心理学が扱う心の問題と心の正常な機能および問題を軽減して正常化を図る方法としての心理療法の正しい知識を身につけることを通して、人間への深い理解を形成することができる。</p> <p>2. 人間への深みのある理解を通して、自己理解、他者理解、人間社会の理解を自分の言葉で表現できるようになる。</p> <p>3. 保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得し、対人支援に活用することができる。</p> <p>4. 治療場面における患者の心理と患者とのコミュニケーションの方法について理解を深め、患者と良好な関係を築けるようになる。</p>	
<p>関連科目</p>	<p>【教養・共通基盤科目群】心理学、教育学、教育心理学、生命倫理、哲学、人間と宗教、社会学、生活文化と医療</p> <p>【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ、人間発達学、医療概論、病理学、公衆衛生学、臨床神経学Ⅰ（神経内科学）、臨床神経学Ⅱ（小児神経学・脳神経外科学）、精神医学、小児科学、リハビリテーション医学、老年医学、緩和医療学、リハビリテーション概論、リハビリテーション関連領域論、安全管理、医療統計学、社会福祉・地域サービス論、人間関係・コミュニケーション論</p> <p>【専門科目群】障害者スポーツ・レクリエーション論、発達支援理学療法学、理学療法特殊講義</p>	

成績評価方法・基準	定期試験（80％）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（20％）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>下山晴彦編著（2009）「よくわかる臨床心理学」 ミネルヴァ書房</p> <p>山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」 北大路書房</p> <p>※ 必修科目「心理学」の教科書</p>
オフィス・アワー	月・火・水・金の昼休み（1号館305研究室および1号館・4号館学生相談室）
国家試験出題基準	<p>【理学療法士】</p> <p>≪専門基礎≫－Ⅱ－4－A－a</p> <p>≪専門基礎≫－Ⅱ－4－A－b</p> <p>≪専門基礎≫－Ⅱ－4－A－c</p> <p>≪専門基礎≫－Ⅱ－4－B－a</p> <p>≪専門基礎≫－Ⅱ－4－B－b</p> <p>≪専門基礎≫－Ⅱ－4－B－c</p> <p>≪専門基礎≫－Ⅱ－4－C</p> <p>≪専門≫－Ⅰ－3－E－a</p> <p>≪専門≫－Ⅰ－3－E－b</p> <p>≪専門≫－Ⅰ－3－F－a</p> <p>≪専門≫－Ⅰ－3－F－b</p> <p>≪専門≫－Ⅰ－3－F－c</p>
履修条件・履修上の注意	<p>講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。</p> <p>「初級障がい者スポーツ指導員」の資格取得要件科目です。</p>

講義科目名称：理学療法概論

授業コード：3P079

英文科目名称：Introduction to Physical Therapy

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
木村 朗			

授業形態	講義14コマ・学外実習（施設見学）1コマ		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション・イントロ 講義概要の説明・理学療法を知ったきっかけを話題としたグループワーク（GW）	木村 朗
	第2回	理学療法とは1 「理学療法・士とは何か」理学療法の定義と歴史、ルーツの解説 「治らないものを治すとは？」	木村 朗
	第3回	理学療法とは2 理学療法の役割と職域、「理学療法に求められていることは何か」身近な話題からGW	木村 朗
	第4回	理学療法とは3 理学療法の対象の理解・身体の不自由な人は、どのように社会と歴史を生きてきたか（小説やドキュメンタリー、映画から感じる障害と考える障害を知る）	木村 朗
	第5回	理学療法とは4 「障害とは」（社会の中の理学療法、リハビリテーションの中での理学療法の位置づけ）	木村 朗
	第6回	理学療法と社会の関わり 各種理学療法技術の歴史・理学療法を作ってきた人々1・世界の理学療法1 GW	木村 朗
	第7回	理学療法技術の歩み1 理学療法を作ってきた人々2・世界の理学療法2 GW	木村 朗
	第8回	理学療法技術の歩み2 関連職種の法律と理学療法士法（医師法・保助看法・理学療法士及び作業療法士法）・公衆衛生と理学療法	木村 朗
	第9回	理学療法と法律 理学療法の法規 理学療法の実際（関連施設、学内の理学療法士と語る）	木村 朗
	第10回	理学療法と管理・チームワーク 理学療法士に求められる倫理観（劇画、映像等）を基に語るGW	木村 朗
	第11回	理学療法士のルーツ1 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。	木村 朗
	第12回	理学療法士のルーツ2 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。	木村 朗
	第13回	理学療法士のルーツ3 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。	木村 朗
	第14回	理学療法士のルーツ4 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。	木村 朗
	第15回	理学療法の実際を知る 施設見学の実施 見学を通して感じたこと、考えたことを授業の最初に考えたことと比べ、報告する	木村 朗
科目の目的	理学療法士を目指す学生にとって、理学療法を俯瞰し、現在、過去未来の我が国の理学療法像のみならず、世界の理学療法を理解することで、生涯にわたり障害のもつ人の課題に取り組む態度を滋養すること。 DPの目的に関して、保健医療専門職としての基礎的知識と、社会人としての教養を身につけること、先進・高度化する専門分野の基本的技術を提供することのための基本的な姿勢を身につけること。		
到達目標	1. 学生は理学療法の定義、対象、業務、歴史、保健医療福祉と社会的役割の点から理学療法を説明できるようになること。 2. 学生は理学療法技術の構成要素が言えるようになること。 3. 学生は今後の学習に必要な学習内容を説明できるようになること。 4. 学生はグループワークの中で自分の役割を果たし、かつ意見交換の記録を報告することができるようになること。		

	DPとの関連：「知識・理解」に対応。
関連科目	リハビリテーション概論、理学療法評価学、基礎理学療法学、日常生活活動学ほか
成績評価方法・基準	ジャーナル（毎回の講義の振り返り）の提出（50%）、プレゼンテーション（25%）、小テスト（約25%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各講義題目内容に対し、教科書・参考書の該当部分を読み、理解しづらい単語や概念をノートに記載し、調べておくこと。約90分。
教科書・参考書	教科書：理学療法概論テキスト（第3版） 細田多穂他 南江堂 参考書：理学療法のルーツ 武富由雄 共同医書出版
オフィス・アワー	火or水12:10～12:50(木村研究室)
国家試験出題基準	<専門> I-1-A-b I-1-B-a～d I-1-C-a～c I-1-D-a, b I-1-E, G, H I-1-I-a～f I-2-A～F I-2-G - a～c
履修条件・履修上の注意	特になし

講義科目名称：基礎理学療法学

授業コード：3P080

英文科目名称：Basic Physical Therapy Science

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
単位認定者	担当者		
中 徹			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 健康の状態としての障がい～障がいと健康、異常と正常、否定と肯定の間～【時間内提出課題】 障がいの定義と広がりを理解する	中 徹
	第2回 ヒトとしての障がいの種類と内容 ～形態と機能の不具合さ1～【時間内提出課題】 形態と機能の用語を理解し、それが不自由であることの意味を理解する	中 徹
	第3回 ヒトとしての障がいの種類と内容 ～形態と機能の不具合さ2～【時間内提出課題】 形態と機能の関連性を理解し、その不自由さのメカニズムを理解する	中 徹
	第4回 ヒトとしての障がいの種類と内容 ～形態と機能の関連性～【時間内提出課題】 実例をもって形態と機能の関連性を理解し、その不自由さのメカニズムを理解する	中 徹
	第5回 人・人間としての障がいの種類と内容～活動の制限と参加の制約【時間内提出課題】 運動能力の障害を理解し、その不自由さのメカニズムを理解する	中 徹
	第6回 障がいにとっての個人・環境因子 ～介入と考慮のちがい～【時間内提出課題】 個人因子と環境因子の定義を理解し、障がいへの影響を理解する	中 徹
	第7回 ICFまとめ～ICFと理学療法の関係【時間内提出課題】 理学療法の実施に対してICFが答えていることを理解する	中 徹
	第8回 ICFの実例に基づく演習【時間内提出課題】 演習としてICFの概念と広がりについて、実例をもって説明できる	中 徹
	第9回 形態の障がいの病態と原因 (骨・支持体)【時間内提出課題】 形態としての骨について理解を深める	中 徹
	第10回 機能の障がいの病態と原因1 (運動器＝骨・関節・フレーム)【時間内提出課題】 関節を構成する骨について理解を深める	中 徹
	第11回 機能の障がいの病態と原因2 (運動器＝筋1 - アクチュエーター)【時間内提出課題】 関節を動かす筋の性質を理解する	中 徹
	第12回 機能の障がいの病態と原因3 (運動器＝筋2 - アクチュエーター)【時間内提出課題】 筋の物性を理解する	中 徹
	第13回 機能の障がいの病態と原因4 (神経系＝脳と脊髄1 - 制御)【時間内提出課題】 神経系の機能分担を理解する	中 徹
	第14回 機能の障がいの病態と原因5 (神経系＝脳と脊髄2 - 制御)【時間内提出課題】 運動制御における神経の役割を理解する	中 徹
	第15回 機能の障がいの病態と原因6 (呼吸・循環系＝心肺機能 - エネルギー) 運動にとっての呼吸循環器系の働きを理解する	中 徹
科目の目的	「障がい」の概念をICF(国際生活機能分類)で理解する 機能の障がいの三領域(運動器障害・神経系障害・循環器系障害)の病態を理解する 本授業はディプロマポリシー1の「知識・理解を高めること」を目的とした科目である。	
到達目標	ICFの概念図を書いてそれぞれの因子と関係性を説明できる 機能障害の病態とそれに対応する理学療法について説明できる	
関連科目	基礎となる科目・・・理学療法概論 将来繋がる科目・・・全ての専門科目	
成績評価方法・基準	提出課題40%+試験60%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	ICFテキストの各回該当部分の予習と復習(90分程度) 講義資料の各回該当部分の予習と復習(90分程度)	
教科書・参考書	第1～8回 教科書；障害者福祉研究会(編集)：ICF国際生活機能分類－国際障害分類改訂版．中央法規出版 第9～15回 教科書なし；講義資料を配布する	
オフィス・アワー	月曜12:15～15:00	
国家試験出題基準	《専門》I-1-D 《専門》I-3-B・C・D 《専門》II-7-B・C・D・E・F・G・H	

履修条件・履修上の注意	前半は社会科学・後半は自然科学の授業で広範囲な内容なので、予習と復習を十分に確保すること
-------------	--

講義科目名称：障がい者スポーツ・レクリエーション論

授業コード：3P083

英文科目名称：Adapted Sports and Recreation Therapy

対象カリキュラム：2020年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
単位認定者	担当者		
城下 貴司			

授業形態	講義（6コマ）、講義と実技（2コマ）、実技（7コマ）		担当者
授業計画	第1回	障がい者福祉施策と障がい者スポーツ（講義） 関連法律、障害者手帳とその判定などの福祉制度と障害者スポーツの位置づけとそれに関わる施策の動向について学ぶ	城下
	第2回	障害者福祉施策と障がい者スポーツ 障がい者スポーツの意義と理念（講義） 障害者スポーツの定義や社会的役割を学ぶ	城下
	第3回	障がい者スポーツの意義と理念 障がい者スポーツの理解とスポーツ 身体障害(内部障害含む)（講義） 障害者スポーツの意義と理念とは、歴史的背景も含めて学ぶ	城下
	第4回	障がい者スポーツの理解とスポーツ 身体障害(内部障害含む)（講義） 身体障害(内部障害含む)には障害者スポーツが存在する、それらを紹介し理解する	城下
	第5回	(公財)日本障害者スポーツ協会公認 障がい者スポーツ指導者制度（講義） 障害者スポーツ指導者制度を紹介する	城下
	第6回	全国障害者スポーツ大会概要（講義） 全国障害者スポーツ大会について、その歴史から現状を理解する	城下
	第7・8回	障害に応じたスポーツの工夫(実技) シドニーパラリンピック車椅子バスケットボール銅メダリスト塚本京子さんと上村知佳さんおよび高橋さん、車椅子バスケットチームの10名程度、車椅子ラグビーの障がい者トレーナー三阪さん、車椅子ラグビーのメンバー10名程度、ブラインドサッカー加藤健人さん、による障害に応じたスポーツの工夫を学ぶ	城下
	第9・10回	ボランティア論（講義と実技） ボランティアとは、その魅力、心得について学ぶ	城下
	第11~15回	障がい者との交流(実技)：体育棟 車椅子ラグビーチームを招致し障害者との交流をする	城下
科目の目的	「障害のない人はスポーツをした方がよいが、障害がある人はスポーツをしなければならない」というHeinz Freiの言葉からも障害者にとってスポーツは必修である、その障害者のためのスポーツを理学療法の立場から、その基地知識を学ぶ。 *ディプロマ・ポリシー：【態度】		
到達目標	各々の障害レベルに合わせたスポーツ指導を体験する		
関連科目	【教養科目群】心理学, 生命倫理, 教育学, 社会学, 大学の学び入門 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ, 人間発達学, 臨床神経学Ⅰ(神経内科学), 臨床神経学Ⅱ(小児神経学・脳神経外科学), 精神医学, 小児科学, リハビリテーション医学, 老年医学, カウンセリング, リハビリテーション関連領域論, 臨床心理学, 安全管理, 生体計測工学, 医療統計学 【専門科目群】運動器系理学療法評価・治療学, 小児理学療法学, 理学療法特殊講義		
成績評価方法・基準	課題レポート（テーマ「障害者スポーツ大会ボランティアを経験して」）100%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各授業後は1時間程度の復習と積極的に障がい者スポーツのボランティアに参加すること		
教科書・参考書	教科書：障害者スポーツ指導教本 初級・中級 新刊 株式会社ぎょうせい 参考書：全国障害者スポーツ大会競技規則集（解説付）公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 参考書：スポーツ理学療法学—動作に基づく外傷・障害の理解と評価・治療の進め方 第2版 メジカルビュー社		
オフィス・アワー	水曜日：12：10～13：00		
国家試験出題基準	特になし		
履修条件・履修上の注意	実技がある動きやすい服装で望むこと 下記単位を取得した後、「公益財団法人日本障がい者スポーツ協会」に「障がい者スポーツ指導員 初級」を申請、登録費用を納めることにより資格取得が可能。 ≪取得要件科目≫ 科目名, 開講学年・学期, 必修・選択 「障害者スポーツ・レクリエーション論」, 1学年・前期, 選択 「臨床心理学」, 1学年・後期, 必修 「安全管理」, 4学年・後期, 必修		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
単位認定者	担当者		
北村 達夫	中 徹	黒川 望	橋口 優
	鳥海 亮		

授業形態	講義3回、演習12回	担当者
授業計画	<p>第1回 【講義】理学療法診断の概念・目的</p> <p>第2回 【講義】理学療法における診断の種類（時期と対象）、問題解決のための評価過程 講義</p> <p>第3回 【講義】講義の概要・ガイダンス、形態測定の意義と目的、測定方法 講義の概要・ガイダンス、形態測定の意義と目的、測定方法</p> <p>第4回 【講義・演習】形態測定の意義と目的、測定方法 形態測定の方法（上肢・頸部）</p> <p>第5回 【演習】関節可動域測定 形態測定の方法（下肢・胸腰部）</p> <p>第6回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）1</p> <p>第7回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）2</p> <p>第8回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）3</p> <p>第9回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）4</p> <p>第10回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）5</p> <p>第11回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）1</p> <p>第12回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）2</p> <p>第13回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）3</p> <p>第14回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）4</p> <p>第15回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）5</p>	<p>中 徹</p> <p>中 徹</p> <p>北村</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p> <p>北村、黒川、橋口、鳥海</p>
科目の目的	<p>1. 理学療法診断の意義、目的、評価の過程を知ること。</p> <p>2. 形態測定、関節可動域測定の知識と技術を取得すること。</p> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療専門職としての基本的知識と、社会人としての教養を身につけている。 ・多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 	
到達目標	<p>1. 理学療法診断の意義、目的、その過程を言及できる。</p> <p>2. 診断時に理学療法士が配慮すべき点を列挙できる。</p> <p>3. 形態測定、関節可動域測定が実施できる。</p>	

関連科目	解剖学、運動学、理学療法概論、表面解剖学と触診法、理学療法診断学演習、運動療法総論、運動器系理学療法評価・治療学、神経系理学療法診断・治療学、呼吸・循環・代謝系理学療法診断・治療学、見学実習、評価学実習、総合臨床実習
成績評価方法・基準	実技テスト（40％）、定期テスト（60％） ただし、単位認定のためには実技テスト、定期テストそれぞれでの60％以上の獲得を条件とする。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	身体のランドマーク、関節可動域測定の基本軸、移動軸、参考可動域を演習実施までに全て暗記すること。 各演習前には必ず実技の予習を、各演習後には必ず実技の復習を行い、知識と技術を習得すること。 必要な学習時間の目安は、1コマあたり45分。
教科書・参考書	教科書：「理学療法評価学改訂第6版」松澤正、江口勝彦著（金原出版） 参考書：特に指定しない。理学療法評価に関する書籍全般。
オフィス・アワー	中 徹 月曜日12時15分～15時 講義日の昼休み
国家試験出題基準	《専門基礎》Ⅱ-2-B-a、Ⅲ-1-A-e 《専門》Ⅱ-1-A、2-A、B、C-a、D、E-a～d、F、G、H Ⅱ-3-A-a～g、B-a～e、C-a～h、D、E-a～c、F-a Ⅱ-5-A、B-a～d、C V-1-C、D、E、F
履修条件・履修上の注意	演習時は測定しやすい・されやすい服装、測定器具を準備する。